

1935

La Revuo Orienta

JARO XVI

N-RO 9

SEPTEMBRO

エ・ス・ペ・ラ・ン・ト・研・究

九月特輯號

中等學校英語科問題と

エスペラント

JAPANA ESPERANTO-INSTITUTO

目 次

中等學校外國語問題とエスペラント	編輯部	241
中等學校における外國語及びエス語について	丸山丈作	242
中等學校における語學の問題とエスペラント	加茂秀雄	244
馳け出しの英語教師として	渡部隆志	246
中等學校の外國語	中目覺	247
エス語に接しての第一感想	鈴木廣次	247
ドイツ語教師として	荒井道太郎	247
中等學校でのエス語教授の時間數	田中政夫	248
自由で奔放容易で偉大なエスペラントよ	亘理俊雄	249
中等學校語學問題とエス語	多羅尾一郎	250
英語教授研究所座談會に對する疑義	新川正一	252
女學生と外國語	片山政子	255
英語教師がエス語を受入れ難い諸點	佐々城佑	256
中等學校語學問題とエス語	田沼利男	257
エス語講習をうけて感じたこと	越野芳雄	258
英語教授はエス語から	菅野祐治	259
Basic English 批判	岡本好次	265
内外報道		267

我國に於けるエスペラント普及・研究・實用の中心機關

財團 法人 日本エスペラント學會

東京市本郷區元町一の一三

—【電話小石川(85) 5415 番— 振替口座東京11325番】—

世界エス運動の中心機關萬國エスペラント協會(UEA)に對し我國を代表する本會に入會され我國のエス運動を援助せられよ

目 的	エスペラントの普及、研究、實用
事 業	(a) エスペラントに關する各種の研究調査及其發表 (b) 雜誌及圖書の刊行及外國エス語書籍の取次 (c) 講演會講習會の開催及後援 (d) 其他本會の目的を達成するに必要な事業
會 費	(a) 普通維持員 年額2圓40錢 (b) 正維持員 年額3圓 (c) 贊助維持員 年額5圓 (d) 特別維持員 年額10圓以上 (e) 終身維持員 一時金100圓以上
維持員へは	La Revuo Orienta を無代配布する他當會發行新刊圖書の割引等をなすことあり
本 會 の	普通維持員を除く他の維持員はすべて萬國エスペラント協會(UEA)の普通會員(simpla membro)となる
入會手續	住所 職業 姓名(振カナ付)を明記し會費一年分を支拂へばよい

會則及發行及取次内外圖書目錄要郵券二錢

役 員 名 簿 (五十音順)

理 事 長	大石 和三郎	同 東郷部長	土 岐 善 磨	理 事(常任)	三 石 五 六
理 事	井 上 仁 吉	同 醫 博	西 成 甫	同(同)	美野田 琢磨
元東北大總長	井上 萬壽藏	同	藤 澤 親 雄	監 事	鈴 木 正 夫
同	上 野 孝 男	同 監督局長	前 田 穰	同	堀 眞 道
同	小 坂 狷 二	同 醫 博	望月 周三郎	顧問 法博	穂 積 重 遠
同 中大教授	川原 次吉郎	同	柳 田 國 男	同 子爵	三 島 章 道
同 文 博	黒 板 勝 美	同(常任)	大 井 學		

中等學校外國語問題とエスペラント

近年我國中等學校の外國語科特に英語科の勞多くして功少きことが問題となり之が廢止を叫ぶ聲が喧しくなつてきた。

歐米文化の吸収に急であつた明治時代に於て學制中に英語科が必須科目としてとり入れられたことは首肯できる。併し昭和の今日に於て依然として英語が中等學校に於て一率に強制的に課せられてゐる事について世間が疑を挿はさみだしたことは尤もなことである。

とは云へ通信交通機關の日々の進歩は著しく地球上の距離を短縮し今日鎖國しない限り外國及外國人との接觸は密接を加ふる許りである。故に今日と雖も我國として外國語の學習を粗末にすることはできない。一般世人の考へも外國語特に歐洲近世語の素養を我國知識階級から奪つてしまはうといふのではない筈だ。唯輿論は中等學校程度に於て英語の學習を全生徒に強制することを不可なりと叫ぶのである。

將來の知識階級の中堅層をなす中等學校生徒の知識の鍊磨の上に於て他山の石として歐洲近世語の素養はあらゆる意味に於て必要であることは世人の認める所である。唯そのためあの發音の六ヶ敷しい慣用句の多い英語を課し前途有爲の青少年に學習時間の過半數の浪費を強いることを忍びぬといふのである。

我國青少年に歐洲語の素養を與へてをきたいが難解な英語は困るといふのである。といつて獨逸語か佛蘭西語に換えた所で難かしさは大してかはらないのである。

この問題解決の唯一の鍵は國際語エスペラントの外にはない。エス語は學習が英語に比して數倍平易でもあるから中等學校で教授して相當の効果をあげうるし、しかも將來英語其他の歐洲語學習の手ほどきとして大いに役立つものである。高等小學校の外國語もエス語とすべきである。

こんなことは今更吾人が述べる迄もなく既に先覺の士の熟知する所である。岡倉由三郎氏は自著「英語教育」(明治44年博文館發行)の中で

「これに就いて自分が考へるには、論がやや奇警かも知れぬが、國語教授に障害を與へずに、母國語と其他の言語と並び教へ得る機會が、我が小學校に生じたと假定するならば、英語又は其他の近世語を教ふるよりも寧ろ、近來追々勢力を増し行く、彼のエスペラントを小學校で教ふるが好からうと思ふ。エスペラントは思想の表はし方が、歐洲近世語に著しく似通つて居る上に、其發音を示す文字の使ひ方も、一字一音主義であるから、其學習は甚だ容易であるし、文法も極めて簡短で、且つ全く規則的である。それ故、我小學校の上級で、二三時間宛一二年も之を教へたなら、兒童をして是に依つて、略ぼ意志を通ずる事を得しめる様に至るであらう。其上、エスペラントの中には歐洲近世語の分子を、澤山に含んで居るから、後日、其中の一つ、たとへば英語の如き外國語を學ぶ時には、大に補助となる譯である。兎に角、僅少の時間で相當の効果を舉げるものは、英語、佛語、獨逸語などよりも、エスペラントが一番優勢であると思ふ。であるから、萬一我國の小學校で其時間の或部分を、國語以外の言語に割き得る機會があつたら、其折には、エスペラントを採用することが、國家の爲最良の方法と自分は確信するのである。」

二十餘年前に英語界の耆宿岡倉氏の喝破された眞理は今日と雖も變らない。(唯變つたのは岡倉氏の立場と所論で何千人の英語教師の休戚を負はされた今日の同氏として英語擁護はやむをえない。)

吾人は聲を大にして我國普通教育の第一外國語として中等學校(及び高等小學校)に於てエス語を全生徒に課することが國家百年の大計だと云ひたい。それについて第二第三の外國語として英語其他を課するのがよいと考へる。外國語入門の手ほどきとしてエス語は最も適當なことは岡倉氏をまつまでもないことであるから。

既に十數年前から我邦中等學校に於てエス語を課外に教授を試み相當の成績をあげた學校は金澤一中、二中、松阪商業、成蹊中學、紀北實踐女、苫小牧工業、金澤商業、勤勞女、大阪盲學校、東京第六高女等々十指に餘る。猶

中等學校における外國語

及びエス語について

東京府立第六高等女學校長 丸 山 丈 作

學制改革の問題は、わが國の重要問題であるが各學校の修業年限や連絡だけを考えたのではとても適當の解決は望まれぬ。どうしてもその内容則教える學科について考えねばならぬ。ここにおいて外國語問題が、重大になつてくる。

今日の現状では、中等學校の内中學校では外國語が必須科となつて居り、女學校實業學校では「之ヲ缺キ又ハ隨意科トナスコトヲ得」となつて居るのである。しかし多くの人々は隨意科になつて居ることも知らないで、女學校では英語を學ばねばならぬものだと思つて居る。

女學校では規則は現在のままでも、たいした差支もないが、實際は大に改められなければならぬ。それは隨意科であるのを殆ど必須科として扱つて居る所が多いからである。何のために必須科の如くして居るかというに、學校の方では、英語を學ばぬ生徒の扱ひに困ることと、親の方では、英語がいるものと思つて居るからである。それは世間一般の認識不足と、専門學校の入學試験に英語を課すから（これも女の方ではすべてではないが）である。中學校では英語が必須科になつて居るから英語を修めなければ、中學の教育をうけられない。これが誠に不都合のことである。わ

が國民を教育するに英語を學ばねば、中等教育を受けさせぬとあつては、憤慨せざるをえない。中學生の最も力を費すのは英語である。高等學校でも最も多くの力を外國語にささげて居る。そして、學校をおえてから、その外國語を役にたてて居るものはまことに僅かである。ただ制度のために無益の努力をして居るのがわが國學生大多數の現状である。これをいかに改むべきか。

「日本人の教育は日本語で」これが、昭和2年雑誌に發表してから、私の常に唱えて居る詞である。大學の教授は日本人である。かれらは日本語で教授して居るのである。參考書も日本語で書ける筈である。何のために大學にはいる者に外國語を強いる必要があるか、大學すでに然り、高等専門の學校は推して知るべきである。

かくて、普通教育といふ看板をかけて、その實は外國語教授を主とした、大學の豫科たる高等學校も廢すことができ、國民教育として重要な中學校の年限をへらすなどの主張も消滅する譯である。私は元來、高等學校を廢して、中學校を6年とし、直に大學につゞけるがよいと思つて居るのである。

かくて、中學校では、隨意科としてエス語又は外國語を課することに改むべきものであ

本年四月から東京府立第六高女に於て丸山校長の英斷により準正課としてエス語が英語と並行して教授されることになり世の視聽を集めてゐる。五年後の成績發表を刮目したい。

今や中等學校外國語科存否の問題は我國民全體の緊急を要する研究題目である。徒らに功をあせることなく國家百年の大計を樹立せんため全國民が慎重に考慮すべき秋である。

本編輯部はここに鑑みる所あり此問題につ

いて多年中等學校の英語科教員として英語教授に苦心されつつある方々及學校長たる方々（その他諸學校で獨佛語の教授にたづさはらるる方々）にしてしかもエス語の研究や教授に經驗ある方々にお願ひして英エス兩語を比較しての公平な意見を拜聽し併せて一般輿論の歸趨の一端に資せんがためこの特輯を企てた次第である。

る。その外國語は今の如く、高等學校、專門學校の入學試験に應ずるためでないから、ほんとにいるものだけが學ぶこととなり、又英、佛、獨、シナ語に限る必要もなくなり、その時間數も毎週3時間位で、中學生の力と時間の1/3も費させる様な、現状を改めることができるのである。

今日の如くでは、いかに盡力しても、到底エス語を公立學校に入れることはむづかしい。課外などに教えて見ても、先生の報酬の出し所もなく、有志生徒にださせるのも困難であり、また何か學校の都合で、休まねばならぬことも多く、そして學び得た語そのものは、英語などと同じく、實際に用いる機會はめつたにない。だから、始めは熱心のものも、次第にさめてしまう。

なお、高等女學校では、外國語は隨意科であるから學ばせなくてもよいが、そのかわりにエス語を學ばせてよいという規則もなく、學ばせてはならぬといふ規則もない。學ばせる學ばせないは、學校長の責任である。英語のかわりに裁縫や手藝を教えると同じである。しかし、裁縫や、手藝ならば、特別に先生を雇わなくても、何とか都合がつくが、エス語ではそうはいかず、剩え嫉視反目の懸念もある。殊に生徒の親にエス語の事を了解して居るものは少いから希望者を得ることも困難である。又、普通教育にあたる教員は國家の認めた免許をもつて居なければならぬきまりであるがエス語はまだ教える事を國家で認めず従てその檢定及び免許のこともきまつて居ないのである。故に今の女學校にエス語を入れる事は、非常に困難の問題で、學制を改革し、中學校にエス語を入れ得る様にするのが先決問題である。「中學校でも教へないものを女學校では」とはわが國多くの人の感想であらうと思ふ。

秩序のととのつた社會に、改革を行うことは、その事が重要なればなるほどむづかしい。エス語問題も同様である。私は帝國教育會で、帝都教育會で、今までに三度この問題をだした事がある。しかし殆ど誰も耳をかたむけてくれない。ただ故伊藤長七君が「それはいいね」といつただけである。反對しないが賛

成もしない。故に原案にだすとだんまりで會議には通る。これではさらに力がなく、たのみにならない。かくなるのは、エス語を勉強して居る者がすくないからである。責任の地位に在る者でエス語を知つて居るものは、誠にすくないのである。

現在の帝國教育會長永田秀次郎氏は、熱心なエス語賛成者で昭和8年國民に對する五ヶ條の希望の一ヶ條にエス語の勉強をすすめられたが、ずつと以前に帝國教育會で“教育第一”という標語を定め、それを徽章に作つて *Edukado unue* とほりつけたことがあつた。それは澤柳政太郎先生が會長をして居られた時のことである。私はそれをひいて、帝國教育會あたりで、エス語を學校教育にとり入れる事を考えねばなるまいと數年前主張した事があるが、前記の如く知らぬ人の間では賛成を得られない。

規則を改めなければ公立の學校に入れがたいことはすでにのべたが私立の學校でも認定指定の學校では同様である。ただ何の資格も認められない各種學校ではエス語を教える事も設立者が賛成であれば面倒でない。各種學校としてある學校は羽仁もと子さんの自由學園の様な學校のことである。そこではまた設立者の賛成を得るのがむづかしいかもしれない。

以上のべる如くであるから、我々エスペランティストとしては、倦まずたわまず、エス語の重要なことを主張して、賛成者を多くし、「朝に一城をとり、夕に一廓を屠る」といふ流儀で次第にエス語を學校教育にとり入れるについての障害をのぞき、輿論をおこして、制度をも改め、遂には國語の次に學ばねばならぬ言葉であると認められる所まで達せねばならぬと思う。

因に、私は英、獨、佛語等の外國語がいらないというのではない。それは普通教育でなく、外國語學校で、十分に學ばしめるがよいと主張するのである。エス語専門の學校もたてて、エス語のよく出來、教員たるべき人を養成することも、もちろん必要である。

中等學校に於ける 語學の問題とエスペラント

盛岡商業學校長 加 茂 秀 雄

中等學校に於ける語學教授問題は多くの場合現在の主なる外國語としての英語教授の効果論で終始せられる様であるが、私としては抑々英語科が中等學校教科中重要な地位を占めた理由と其の時代相（明治中期の）を再び見返る事がどうしても必要な事と思ふ。英語教授の必要は單に西歐文化の輸入に不可欠な條件であると思はれた爲めかどうか、其の間他の理由が介在しなかつたかどうかを顧みる必要があり、現在英語科をどの程度で片付けばいいかと言ふ解決も存外此の邊に鍵があるのでは無からうかと思はれる。

然し乍らたとへ英語科教授の起因が文化輸入の要件であつても、常識涵養の方便であつても、或は又不平等條約撤廢の爲めの表看板に使はれたにもせよ、エスペラント學會が既にエスペラントを英語と並べて、或は英語以上に見て特輯號を出す以上、英語科問題の丘を越えて居るものと見て茲にいきなりエスペラントを中等學校に課するといふ明朗な問題にとんで行きたいと思ふ。但し客觀的に見て英語科は當分容易に廢止迄徹底的變化を辿るものでは無からうと言ふ自分の信念の下に話をすすめて行く事がケレンに陥らなくていいと思ふ。便宜上項目を分けて考へて見よう。

一、英語とエスペラントとの併用の問題

中等學校に於て輕重なき二箇の外國語を教授する事は教育技術の方から見て無理があり効果論から考へて損な事だと思ふ。エスペラントならエスペラントだけの一本で行く事にするか、何れかを主として他を従とするか、或は何れかを先にして他を後にするかである。然して現在の英語が簡単に廢止し得ない事は教師失業とか、商業及び會議用語としての英語の長所とか言ふ英語側よりの主張はどんな風にしてでも片づけられるとしても、エスペラント自身の國際語としての地位が世界的に高まらなければならぬ。つまり原因はエス

ペラント側にあるものと思はれる。もつと多くの方がもつと多くの場合にエスペラントを使用すれば、頗る容易に解決すべき問題であると思ふ。然し乍ら此のエスペラントの効用を高める爲めに英語廢止を叫ぶ事は効果が少いと思はなければならぬ。蓋し中小商業家の更生の爲めに反産運動を起す様なもので感心した事では無い。英語は何れは時間數に於ても効用に於ても減ぜられるものであらう。然しそれはそれに代るべき他の語が出来る事によつて成就される。但し他の外國語或は日本語が之に代れば第二の英語の出現となるから、エスペラントの興隆のみが許された條件になつて来る。然してそれは徐々に來さるべき問題である。之が私が英語廢止が簡単に實行されまいと言ふ。さうした見地から見て私は現在エスペラント單一制或は外國語全廢制の出現が急速に實現されるとは信じないので、どうしても併用といふ立場の説明におちて行く事になる。

私の希望するところは尋常卒業の入學資格修業年限四年乃至五年の男女中等學校に於ては第二學年迄エスペラントを教授し第三學年以上は英語を教授し（單に英語に限らず他の必要な外國語であつてもいい）エスペラントは隨意科目、選擇科目或は課外として卒業迄繼續せしめるのが現在執り得る最も適當な方法と思ふ。

二、將來エスペラントに與へらるべき教授時數、教科用書等

中等學校に於ける外國語配當時數は講習會等の時數とは全然考慮を更へてかからなければならぬ。他の教科（外國語と同様或は同等以上重要な）の間に介在して日常生活に割合に縁の遠い科目となつてゐるわけで、教授法の如何に拘らず生徒の身になつて見るとビツタリ來ないわけである。随つて相當時數を配當せねばならぬ事になる。先づ第一學年に毎週

四時間乃至五時間、第二學年に三時間乃至四時間といふところであらう。第三學年以上のところは毎週二時間位でもよからう。これだけでも現在の英語の時数を半減した位のところに當るわけである。尤もエスペラントを現在の英語科の効果位のところで止めようとするれば前記の半分位の時間でも立派にやつて行けよう。

次に教材に就ての問題だが、現在ある講習用書的なものは全部落第でせう。生徒の心意發達過程を考慮した容易な内容を持つたものから撰び、練習材料を極端に多くしたものを執らなければならぬ。日本人向きに作ると言ふ事も考慮しなければならぬ。英語でやつてゐるオーラル・メソッドも、エスペラントのチェ・メソッドも参考されなければならぬ。然し最も肝要な事は文法の一通りを繰り返し繰り返し易より難へ、單より複へ進む循環的教授法を執る事である。

三、エスペラント教授と英語教授との相互補導

英語より早くエスペラントを生徒に教授するのには飽く迄日本語との關係比較に基礎を置かなければならぬ。その際に常にザメンホフのエスペラント文法考案の苦心を語つてエスペラント文法から推した日本語文法に目を向けさせるのがいい。此の點パーマー氏の英語教授の初學年に於ては禁物とされて居るが色々な點から私は實驗的にさうでなければならぬと信じて居る。此の結果が英語教授を開始する様になつてから非常に援けになるといふ副貳的の効果さへ持つて居る。

凡そ英語教授をやつて見て困難な點は品詞論中の分詞の意味を呑み込ませる事である。これは分詞用法の複雑な爲めと動詞變化の複雑な爲めであらう。此の點はエスペラントの分詞説明でらくに了解が出来る。次がムードの問題であらう。ムードは意志表示者の態度を表明する立場から既成國語は各々其の形式を異にして理解し悪い點が多いが、エスペラントの習得によりムードの基本形態が頗る簡単なものである事が理解せられて、英語學習に便利な點が多からうと思ふ。語根のラテン系から来る爲め英語學習に便なる事は論を俟

たない。語法の點になると品詞論に比較して英語と對比して頗る寛容なものであるだけ、英語語法の入門として役立つ事勿論であらう

四、エスペラント教授者の養成並教育諸制度の變更

法制上の變化によつてエスペラントを課するとすれば教師の養成は頗る簡單である。夏期休業を利用して全國を縣區劃により講習區を定め、希望者（主として英語科教員）に講習を授け、其の後一ケ年の猶餘期間を置き、其の間教員檢定制度を新たにして檢定をすればいい。勿論第一學年から順次實施するからエスペラント教師の數も始めからさう澤山はいるまい。同時に教員養成機關たる學校に於て漸次エスペラント科を設けて行けばいい事にならう。

爾餘の問題、例へば高專入學試験問題の如きは法制によりエスペラントが課せらるる際は容易に變更せられ得る。

問題は外國語の専門學校を多少増加する必要が起つて来るだらう。高等學校専門學校に於ける外國語の力は中等學校三年からやつたので支障は無いと思ふ。エスペラントによつて基礎づけられた外國語教授は從來のものより遙かに効果的であらうから。

最後につけ加へたい事は如上の意見はエスペラントが中等學校に法制上課せられる事になればといふ假定の下に述べられた事である。

本特輯號編輯に際して

1. 中等學校英語教授に當りエス語を教へてをいた場合英語の成績が向上すると思ふ。どの程度に？どの點が？
2. 日々の授業の際英語の難澁な點、それがエス語なら容易だと思ふ點は？
3. 中等學校で外國語（エス語を含めて）教授の必要ありや。
4. 特に高等女學校で必要か、否か？
5. 將來中等學校でエス語が教へられる際其授業の時間數は？
6. 將來中等學校の外國語としてエス語英語併用がよいか。エス語のみで可？
7. 將來中等學校エス語教員の養成（特に過渡期における）法如何。
8. 將來高等諸學校の外國語問題は。等の諸項目又は夫に類した問題を中心に各位に執筆をお願いしました。

馳け出しの英語教師として

富山工業學校教諭 渡部 隆 志

編集部からの要求は、最近エス語學習をはじめた本校英語主任の鈴木氏に何か感想を、とのことであつたので、從來非公認のエス語教師を以つて自認して來た私の「あんたはアメリカで勉強して來られたんで、英語位は何でもないだらうから」と校長さんの口車に乗せられてつひうかうかと其の氣になつて三四年生の英語を週八時間づつ引請けてしまつた馳け出し英語教師としての感想は勿論この特輯號に相應しくはないかも知れないが、枯木も山の賑ひとなれば幸である。

「英語位何でもないだらう」とは飛んでもない間違だ、と實際にやつてみて始めて解つた愚さを何度繰り返しても始まらないが、なまじつかエス語指導の経験があるだけに英語教授の困難がしみじみと身にこたへる。此の點に關しては、エス語に接せぬ英語教師の方負擔は輕少で済む。此の困難を緩和するために私は此處でも九月の二學期から科外エス講習を試みることにした。之は最早純眞な生徒を能力審査の具に供するためではない。過去六ヶ年間前任校に於て約二百の生徒に課して實驗済であり、成績の向上は既定の事實である。一般中等學生の極めて少數の者にとつて英語は難解であるが大多數の者にとつては全く不可解なのである。かう云つたら英語の先生自らが先づ腹を立てるかもしれないが、之が事實だから仕方がない。せめて大多數の者にとつて難解である點まで漕ぎつけられたら英語教師としての大成功である。幸なるかなエス語の導入は之を可能にして呉れる。自稱エス語教師なる私のエス語に對する探點の甘さを笑ふ人があつたとしても事實は曲げ得ない。エス語導入によつて英語成績が向上すれば、英語教授存否の問題は別として、英語教授そのものの成功であり、同時にエス語自身が國際語としての實効を示すなら、實に一舉兩得。甘すぎる話のやうだが之が又事實なのだから舌が曲らない。最近高田高女生がアメリカのハイスクール女生徒達と英語で文通をは

じめて、貰つた手紙を集めて副讀本として綠陰で之を繙いてゐる新聞寫眞を見て、成程太平洋浪靜かだと長大息した。(地方では英語をまるきりやめて了つた女學校もあるのに!)かうしたことがニュースヴァリウを喚んでゐる一方、金澤商業の腕白共(金商生諸君御免)は先生の手を離れて勝手氣儘に世界中を相手に生意氣な交歡をやり出した。勿論エスペラント一點張り。やれやれ仕末に負へん餓鬼共だと云へるだらうか。

住み慣れぬ北陸の暑氣中毒で自分の飯の種にケチをつけては勿體ない。では、先を急いで「中等學校語學問題とエス語」を廻つて二三の希望その他を：

1. エス語が英語教授に役立つこと。

エス語既修者は一般に英語文法の呑込が速かで確實。文法上の不規則を不規則なものとして理解するに敏。

2. 英語の六ヶ數さ。

英語教授の難關は一に始つて十に終る。就中、前置詞用法の複雑多岐なる。發音、綴字、揚音の困難は云ふも更なり。

3., 4. 中等學校に語學教授不要とは云ひ難し。過重なるを望まず。先づ必修語學時數を現行より半減すべし。性別よりも人柄による個別指導が重要。隨意科の使命此處にあり。

5. 正科としてエス語を入れる場合、低學年に三時間。高等年に二時間。

6. 英エス何れかを必修、他を隨意科としたし。此の意味で併置に賛成。

7. エス語教師の問題：應急的には中等教員有資格者中のエス語熟達者を學會が詮考推薦。追つて文檢制度による教員任用も可能となるべし。

エス語教師と英語教師とは思想的に別個の存在。随つて兼任或ひは轉向は可能なれど、總ての英語教師をエス語教師に改宗せしむることは不可能。英語廢止による英語教師の去就は別問題にして且つ重大問題。

8. 中等學校に於てエス語を必修とする場合、高校以上の語學は極めて自由な立場に於て教授せらるべし。但し存廢の問題は重大にして、速斷致し難し。以上。

中等學校の外國語

元大阪外國語學校長 中 目 覺

私は男女中等學校の外國語について次の様に考へて居ります。

一、吾人は世界に日本語を普及することを理想とせねばならぬこと。

一、従つて國語に重きを置き、外國語は第二次的の學科とすること。

一、第一學年に於ては悉くローマ字を教へること。是は數學、理科等にも必要だから缺く可からざるもの。

一、ローマ字は國語の時間内で教へる。

一、二年以上は原則として外國語を全廢すること。

一、市の中等學校に於ては一市一校位外國語を課するも差支なきこと。

一、外國語を課する處合は、毎週三時間以内三學年を超えざること。

一、外國語としては現行の支、英、佛、獨の外にエスペラントを課するも差支なきこと。

一、高等專門學校の入學試験には外國語を課せざること。

一、外國語研究希望者のために各市に外語傳習所を設け、夜間二時間位にて速成に教授すること。以上（昭十・七・三〇稿）

エス語に接しての第一感想

富山工業學校教諭 鈴木 廣 次

英語は英語、獨語は獨語、佛語は佛語で夫々實用的價值或は文化的價值が充分に認められ、エス語はエス語で、その現在の使用者又は文獻の存否、若又有るとすれば其の程度範圍如何等の問題は外にして、エス語の創始者の趣旨抱負は確に敬服に値する點があり、其の實用的價值文化的價值もエスペランティストの努力によつて將來性のあるものと考へられる。諸外國語とエス語とはお互に侵し得ないで併立の分野があると確信するが、諸外國語の重要性は認めつつも、被教授者の方面から見ると、入門の際發音に一苦勞、次は文法に悩まされ、さて以上一通り終つたとしても今

度は多數の語彙にさいなまれるといふのが一般の實狀で、斯くては切角の外國語教授もややもすると極く低い文化的價值しか得られない弊があるので、教師としては能率増進の方法如何を常に苦心してゐるのであるが、其處にエス語に接してみると、其の發音と綴字との關係の簡易、文法の統一性、語の造成法の自由、諸外國語と語根の共通等の點からして諸外國語をオミットしてといふ事は考へられないが、諸外國語教授に先つてエス語を教授したら一舉兩得が出来るではないか？

これがエス語に接しての第一感想。

ドイツ語教師として

荒井 道 太 郎

おたづねに接しましたが、自分の場合の具體例をそれ程豊かには持ち合はせてをりませんので、御満足のゆく答を致しかねます。併しエス語は私の場合「言語性」とでも謂ふべきものを見せてくれましたので、色々の外國語を學習するに當り豫想外に役立つたことだけは確信を以つて申し上げることが出来ますその點、中等學校でエス語を併用すること（否むしろエス語の學習を他の外國語よりも先行せしむること）は毫も異論ないどころか、極力おすすぬめ致したきものです。他の外國語と

申しましたが、英語殆んど萬能の現況は洵にどうかと思はれる次第です。中等學校でエス語と獨逸語——そんな方針にでもなつたら我々日本人は「思想」の點で現在よりも遙かに恵まれ、ひいては國民性にも恐らくずつといい影響があるのぢやないかと愚考致します。中等教育にエス語を精力的に進出せしめると同時に、他の併用外國語の種類の點に就いても、今こそ十分に考慮する必要があらうと存じます。病臥してをりますので、以上甚だ簡短なお答でお許しを願ひます。

中等學校でのエス語教授の時間數

返子開成中學校教諭 田 中 政 夫

1. エス語が英語教授に役立つこと エス語は接頭語接尾語を多く用ひる關係上、英單語に現はる接頭、接尾語を容易に理解し、忘れてゐてもすぐ思ひ出し、未知の言葉も接頭接尾語によつて推察出来るので語彙が他の生徒に比べて著しく豊富である。

英語の複雑な時相をエス語のそれで表はし比較すると樂に覺へるやうである。

2. 英語の六ヶ敷さ 1. 及び 5. に書いた通り、不規則動詞、名詞の複數形が不規則なるもの及び不規則なる形容詞副詞の變化。冠詞の用法。混成時。

3. 中等學校で外國語教授の必要 知つてゐないと見解が狭まい何といつても英、佛、獨語は文獻が多い。一々翻譯はして居れない。

4. 女學校と外國語 隨意科として是非おく必要がある。(エス語なら必須科目とする。) 現行のままの外國語なら隨意科の授業時間數を中學校と同じにする。女學校から全然外國語を驅逐して智的に延びる女を強いて無能にすることはいけない。

5. 中等學校の語學としてエス語を入れる場合の授業時數。

(イ) 中等學校を中學校と實業中等學校に分けて考へると實業學校では學校の性質上語學の時間を多く必要とするもの或はエス語のみを課し得ないものがあらうから此處では中學校の場合に限るものとする。

中學校で現在教授されて居る外國語即ち英、佛、獨、支の四ヶ國語と同一條件の下に新たにエス語が教科目中に加へられるものなら他國語の五年間に習得されるものをエス語なら二年半で充分である。時間數は文部省が中學校教授要目で指定する故それに従ふのであるが五年間のうちには教室以外のものを樂に讀めるやうにならう。エス語を學校で英語並みに五年やるのであるから。

(ロ) エス語のみが現在の外國語に代つて課せられるときは各學年を通じて四時間を適

度と思ふ。今日行はれて居る中學校教授要目に従つたものとエス語とを比較すれば

學年	一週に於ける外國語授業時數	エス語	一年間の實際授業日數を二百二十八日、三十八週として節約し得る時間數
I	5	4	38
II	5	4	38
III	6	4	76
IV	一種 2—5 二種 4—7	4	76
V	一種 2—5 二種 4—7	4	76
(二種のみを考へ平均一週六時間と看做す)			304

となる。四學年五學年に於ては英語が上級學校入學試験の際重きをなす關係上、更に補習授業のあるところが多いのである。四五年では平均六時間とみたけれども大抵の學校では許される限り英語の時間を多くして居るので七時間であらう。五年間を通じてエス語の場合と比べて少なくとも三〇四時間多く費すこととなる。四年五年を一週七時間、それに補習二時間とするときは更に三〇四時間が加はり一週の授業時間數を三十時間として大約二十週間、即ち五ヶ月足らずを餘分に費し、しかも得る所は毎週四時間のエス語授業に遠く及ばないのである。

エス語を課するときは英語の場合に於いて現在三學年以上に課せられる文法の時間を必要としない。新撰エス和辭典について居るエスペラント語法概觀に今少し例題を多く入れた程度のもを文法書として一冊こしらへておくと、教師は必要と思ふとき開かして注意をあたへ、又生徒は不審な所はこれを隨時見るやうにする。語法の不審なところはエス語のやうに簡単なものなら生徒自身必らずしらべて自分のものとする。殊に中學校では時と

自由で奔放容易で偉大な ESPERANTO よ

横濱専門學校教授 亘 理 俊 雄

我々わ英語お“教授”することによつて生計お立てている者ですが、それにも係らず、否それ故に ESPERANTO お 100 % 支持致します。もし ESPERANTO が中學校で教へられるとすれば、中學校の年限わ現在の五年制度お三年に短縮し得るし、高等學校わ二年で充分だろうと存じます。その方法わ：——

中學三年間お通じて會話お本體とすることその傍ら一年にわ簡単な文法、例えば、各品詞の語尾、複數、目的格等お教へれば充分。二年生にわより高等な文法、例えば關係詞、分詞等、これで文法わお終いとして、三年生にわ前述の通り會話お主としながら、一方速讀主義で色々なものお、語學的、文法的でなく内容理解的にどしどし讀破する習慣を養成することです。こうすることによつて如何なる大冊本に接しても、丁度我々が日常の新聞お讀むように、ちつとも臆効がらず、愉快にこれお味讀することが出来るようになります。

以上で歐洲語に對する十分の準備わ出來た

のですから、高等學校二年間に、他の英獨佛なり露語なりわ難作なく習得できることお確信して疑いません。

中學四年制が叫ばれてゴタスタしている時そして殆ど無效果的な英語教授時間が漠大もなく浪費されている今日、もし ESPERANTO が以上の如く實施されたとしたならば、それわ國民經濟の點から考えても如何に大きな福音でせう。一日も早くこんな幸福な日が來らんことお我々わ切望し且努力する次第であります。最後にツルゲーネフおもちつて：——

疑い惑う日にも、人類の運命お思つて佗びしい思いに暮れる日にも、お前ばかりわ我らの杖であり柱である。力強い、誠實な、自由な ESPERANTO よ、お前と言うものがなかつたら、世界の現状お見てどうして絶望せずにいられよう。けれどもか様な言葉が、偉大な人類の享くべき賜物でないと、誰が考え得られよう！

して試験があるに於てはなほ更であらう。書取の時間も英語で課するときの半分でよからうし、佛蘭西語のそれに比すると三分ノ一若しくは四分ノ一でよからう。

前述一週四時間のエス語教授の結果が現行の外國語教授の結果よりもはるかに勝れた結果をもたらすことは英語の不規則動詞の變化一つを考へて見てもよい。佛蘭西語の動詞變化を考へるならば思ひ半ばに過ぐるものがある。中學校の二年生三年生が英語の不規則動詞變化表を片手に目をつむつたり、睨んだり、或はカードに書いたものを裏表、表裏とひっくり返して暗記して居るのを見ると、これだけの努力でエス語の文法は充分すぎる程了解出來ると常に思ふ。この不規則動詞の變化を覺へてしまはなければ受身も完了時形もわからない英語である。しかもこの變化は英語の勉強では極く初歩である。割合簡単だと思ふ英語の名詞の不規則なる複數形、又人稱

による助動詞の變化、これ等が複雑な時制とこんがらがつたものとエス語の場合とを比べて考へて見ればはつきりするであらう。

高等女學校は時間數の都合悪るければ三時間として、節約出來た時間は家事科に向ける。

6. エス語英語併用か否か 三年二學期まではエス語だけ、三年三學期以後英（若しくは獨、佛、支、露）語を主とする併用がよい。

7. 英語を廢しエス語を教授することを一年前に發表すれば教師問題はどうかになる。文檢式に試験をすればよいが。要は中等學校の英語教師の生活問題が社會的にはるかに大きいであらう。

8. 高等諸學校の語學は現在のままでよい。中學校で英語をやつて、高等學校の乙類丙類へ行くあの方法。將來も高等學校が現在通り甲類乙類丙類と語學によつて分けられて居るならエス語から丙類に進む者は餘程樂であらう。

中等學校語學問題とエス語

(附) 我が親愛なる英語教師諸君へ

東京府立第七中學校教諭 多羅尾 一郎

近來急に中等學校に於ける外國語(特に英語)教授無用論や授業時間短縮の聲が喧しくなつて來た、所以は、近時我國の國運の急速なる膨脹より來る極端なる國粹排外思想と具體的に英語(外國語の代表として今後使ふ)教授の實の揚らざる事に依る。此度は文部當局が愈々本氣で何かを實行しさうなので、英語教育界は急に騒ぎ出したのである。去る七月中旬には東京府英語教員大會が催され次の決議が成された。

決議

吾人は我國の中等學校英語教授時數を削減し又は該學科を隨意科たらしめんとする事に絶対反對す。

理由

1) 英語は世界語なり。故に日本精神を宇内に宣布せんとせば須らく英語によるべし。

2) 貿易市場を世界に求めんとする今日英語教育は喫緊の必事なり。

3) 對外關係の愈々複雑を加へつつある今日英語教育は國民外交上より見て之を忽諸に附し難し。

4) 現代日本の躍進は、明治大帝の宏謨に基き、英語教育の普及を圖り、廣く智識を世界に求めたる賜にあらずや。

5) 交通機關の發達に伴ひ、英語の知識は吾人の常識として缺くべからず。

6) 外國語の學習は中等程度の修業期に於て之を爲すこと最も有効なり。

以上の理由に依り、中等教育に於ける英語教授の時數を削減し、或は之を隨意科たらしめんとする事は、要するに國家教育を破壊して、社會の進歩と國運の發展とを阻碍するものなりと信ず。

と云ふのである。眞に現代英語教育者としては無理からぬ事で、延ては自分等の生活に大關係を來す事であるから、一朝の決議で事を

定めて貫つては大に困るのである、以下エス語者として又英語教員としての筆者の意見を公平に書かうと思ふ。

此度の改革案は未だ蓋を開けない故何とも云へないが、多分英語教育を何とかしやうと云ふので、それにかへるにエス語を以てするとは云はないであらうし、又エス語問題にも觸れないであらう。(放つて置けば)七月號の藤高氏と同じく「建設を忘れて破壊に急である」のなれば筆者はどこ迄も反對である。此際何とかして、文部當局にエス語を聲を大きくして極力すすめる事が我々の國家に對する義務でなからうか。上記英語教員の決議は英語ばかりより眺め、エス語を全々無視したる決議であるが。エス語を研究した事のない人々の集會であるから、やむを得ない。筆者個人としては外國語教授無用論には絶対反對(エス語も外國語の中に入れて)である。エス語のみ教授も當分は不可(今後半世紀間は)。エス語と英語併用教授を主張す。半世紀間は全世界の人々及び主なる文獻(翻譯物をも含む)にエス語が大體に於て行き渡らないものと思ふ故なり。明治維新以來七十年、特に英語の形を通して外國文化は我國に紹介された今でも横文字は皆英文と思つて居る人々が如何に多き事よ、又實際不便には違ひなきも英語を吾人が何かの方法で使ふ事が多い事實を見ても直に英語と縁を切る事は得策でない。今後半世紀間に徐々と時に應じてエス語に変更して行くのが一番かしこい方法であらうと思ふ。一國の教育制度の事は餘程慎重にやる可きで、一時のパツションに依つて左右す可きでない。先づ中等學校を五年制度として最初の二年間はエス語のみを、三年生よりエス語を通して英語を。兩語共毎週六時間は教へる事。故新渡戸博士も云はれた如く、エス語習得に依つて、三年生より五年卒業迄に現在擧げられて居る以上の良成績を得る事は確實な

りと信ず。八月號の菅野氏の論文參照。(エス語が英語研究に中介物として、如何に共通點多く、役に立つかと云ふ點を特に)。同氏の云はれた事で殆ど筆者の云はんと思ふ事はつきて居るが、ただ過去に於て餘りにも筆者の英語學習上エス語が役に立つたかを考へると早く氣が付いて同語を學習した事を眞に感謝して居る。

毎週六時間即ち一日に必ず一時間と云ふ譯は、外國語教授に經驗なき人々(特に文部當局の方々に云ふが)は多すぎると云はれるであらうが、先づ言語は大半習慣なり、と記憶せられたい。特に會話に於てしかり。日本國內に小兒時代からずつと住めば如何なる白痴でも日本語を話し得。英米兩國其他に於ても同様な事が云へる。後天的に習ふ外國語は其國に滞在するにあらざれば毎日一時間は何かの形式に於て反覆練習するにあらずんば、エスペラントと雖も理想通り二三年間に読み書き話しを習得しきる譯にはゆかないであらうと思ふ(母國語以外の初めての外國語としての場合の話)。時間の資本をかけずに自由自在に他語を操つるなどは到底思ひも依らぬ事である。短日月にエス語を物にした人々を時々見受けるが、それは餘程の秀才か、さもなくば歐洲語をすでに二三精通して居る人である。六時間は多過ぎるとなれば、外國の歴史地理や其他世界共通の科學等をエス語を通して教へれば良いのである。いや實はかくせざるが故に現代の英語教育の功果が擧がらなかつたのではないか? 應用させない語學だからすぐ忘れる。明治時代前半の學生の比較的單語の豊富であつた事は普通學科を英語でやつた事に大に原因して居る。他語を通して教育を與へる事が大國民の名譽に關するならば、中立語エス語でやれば如何です。世間がさうなれば教材問題はすぐ解決する。エス語習得は他外國語に多大に關係ある故、他語を習得する爲にも大に、かくする可きである。

エス語が全然今迄の英語に取て代る事は上述の如く先づないがエス語が必修科目に成つた當初に於けるエス語教師產出方は、文部省が現在の日本エス學會に大體の所を委託する。其先きは筆者が論ぜなくとも、學會で上

手になさる事であらう。ただ今迄涙ぐましき迄に奮闘研究を怠らなかつた既製エス語者をして蒔いた種を何とかして物にさす事と、將來のエス語教師資格はエス語以外に歐洲語一つは必ず收得したる者に限る事。理由は他語を通してエス語を見るにあらざれば眞のエス語の精髓を捕むを得ず。筆者の上記の論に依れば、中等學校にてはエス英語兩語を教へる事になるからである。此は一方今の英語の先生方を救済する事になるから。

現在の英語教師をエス語教師(中等學校程度の生徒を教ふるにたる)に仕立直す事はだから一番都合がよいのである。又然する事はさのみ困難な事ではない(過去の經驗に徴して)彼等にエス語其物こそ初めてであるが、語學術に發表の骨を最早英語にて十分に獲得せる人々であるから。小一年も眞面目に講習を受けたら教へる事位は裕に出来る様になると確信す。學會は今より教育方針及び教材の下ごしらへをして置く可きである。

以上述べて來たが云ひたい事は未だ山程ある。此際なんとかして、祖國の爲め、東洋のため、ひいては世界人類のため、小さくしては現在英語教師の將來問題善處のためエス語を中等學校の教科に入れたいものである。

筆者は忠實なる英語教師である。決して英語の裏切者ではない積りである。英語は本當に好きである。英語を愛すればこそエス語をやつたのである。英語教師諸君よ! エス語問題は我等こそ特に研究す可き事なのである。徒に盲目的なる非難をやめて、我等お互ひ擁護の爲にエス語を勉強しようではないか。エス語は決して英語の敵ではない。むしろ味方である。我等の危具する我々の日用の糧を奪ふものは決してエス語にあらずして、皮想なる時代思想である。英語をより良く知り、愛する爲に何卒つまらぬ偏見を捨てたいものである。去る七月上旬オランダよりのラヂオ放送にエス語にてもアナウンスされた。(筆者自身もそれを聞き届けた)。世想は我等個人にお構ひなしに移つて行く。筆者の兄弟である英語教師諸君よ! 世の流れに遅れて千歳に悔ひを残す事なかれ。

英語教授研究所

座談會に對する疑義

高津高等女學校長 新川 正 一

英語教授研究所主催の座談會記錄（菊判三十一頁、題目は英語教育の目的及價值）を同所から寄贈に預つた。私のみでなく、恐らくは全國の中等學校長等が寄贈に預つたのであらう。時節柄結構な催でもあり、而も其の記錄を頂戴したことはまことに有難い。多少此問題について關心をもつてゐた私は早速拜見した。何せよ座談會の人々は本邦英語教授界の錚々たる方々であるから私の啓發された點は非常に多く感謝に堪えない次第である。然し乍ら同時に若干の疑問も湧いて來た。「第一今の女學校の教員だの校長はどういふ了見だらう」といふ所まで讀み來つた時に、何とかものを申さずばなるまいと考へるやうになつた。抑々此のパンフレットの使命——否此を私達に寄贈される所以のものは、私如き一知半解の徒に正しき見解を與へ、巷間傳ふる所の英語教育に對する妄説を拂拭しようとするところにあるのだらう。然し一步退いて考へるとこの座談會の内容に對して疑問なり、反對意見なりがあるなら、これを發表して同研究所の人々の垂教を受けるといふことは、一層このパンフレットの目的に副ふものだと信ずる。「どういふ了見だらう」ときかれなくても、折角御寄贈の御厚志に對し、私の疑問なり、主張なりを述べて、且は感謝に代へ、且は教を乞ふ次第である。

「我國の中等學校に於ける英語教授の是非については近來やかましく論議されるやうになりましたが、これは別に新しい問題ではなく、既に大正時代から起つた現象で、夫々多少色彩は異つてゐますが、併しまだ實際の制度の上に著しい變化を與へるまでには至りませんでした。然るに數年來日本の社會は所謂非常時の波に押されて、從來嘗て見なかつた速さで幾多の議論が實行に移される氣風が現れましたが、聞く所によれば、中等學校に於ける英語を廢止或は大縮減を行ふべし、と

唱へるだけではなく、之を急速に斷行しようとする地方が續々現はれて來たといふことであります。中略、そこで今夕英語教授研究所は、多年英語教授に關係してをられる皆さんに御出でを願つて、……」。これが當座談會に於ける石川林四郎氏の開會の挨拶であると同時に目的であつた。此の事に關する限り、まことに時宜に適した結構な企であつて、何人も異論はないであらう。所で問題は、其の廢止論或は縮減論にある。如何なる論があつたのか、此の座談會の人々の何人も言及んでゐない。座談の目的は結構ながら其の座上に据ゑるところの論は何もない。ただ漠然たるものであつて、「きく所によると」式のものである。換言すれば、此の座談會の人々は何を根據に論じてゐるのか譯が分らない。漠然たる英語無用論、全廢論、縮減論をもとに論ずるのでは餘りに幼稚であり、非學問的である。私はかくの如きかげにおびえたものの言ひ方を錚々たる英學界の人々の爲に惜しむものである。

私の知る範圍でも全廢論としては、東洋文化學會發表の學制改革案がある。即ち

女子中等學校に於ては外國語を課せず特別の必要によりて之を課する場合と雖も隨意科となすこと

特殊の家庭を除くの他は外國語を用ふる所なし、且つ女子中等學校に於て之を課するも實用に應ずるの學力を得しむる能はず、而して生徒の負擔は決して輕しとなさず、故に之を必要とするものに對しては別途の方法を以て之を習得せしめ一般の女子中等學校にありては全廢するを以て本則となすべし。

これ以外の著名な論には、ふるくは藤村作氏のものがあり、新らしく三上參次氏のものがある。前者は雜誌現代に發表されたもの、後者は第六十五議會の貴族院で發表された演

説である。もつと新しい所では、帝都教育會調査部に依つて發表された「中等教育に於ける外國語英語を如何にすべきか」がある。かういふ問題に普通以上の關心を持つてゐなければならぬ前記研究所の方々が之を知らぬ筈はなからう。又永田秀次郎氏などはラヂオに講演に、此の問題を取扱つてをられる。何故に此の座談會の人々は此の如き確固として存在する論をば無視してかげの如き「きく所によれば」式のはかない聲を座談の材料とされたのであるか解するに苦しむものである。それとも最早や全廢論縮減論を以て輿論とみなされての結果であらうか。たまたま一人が三上氏の説にふれてはをるが其の論旨をはつきりつかむでをるとはおもはれない。私の考へる所では世間に既に流布されてゐる此等の論に對して検討をなすことが、最も此の座談會に相應しく且つ爲さねばならぬところだとおもふ。かくして其の非を指摘するならば世論は自ら英語教授につき現状を維持し、又は現状以上のものを要求するに至るであらう。かういふ方法をとらないで、勝手な想像の上に勝手な議論を述べたのでは、此の座談會の本音は寧ろ石川氏が言つてゐるやうに

「……これを極く公正に批評するならば、今の、隨意科にするといふやうなことにしても、これは他の學科と同等の立場に於て考へたらよいとおもふ。これを三年迄やつて、性質の適しないものには何か他のものを選ばせる意味で選擇科目にするのは差支はないがこれに代るべき學科については何の調査も準備もなく、唯隨意科にすれば教師の數を減らすから、それが經濟の方に都合が好いとか、將來全廢を行ふ第一歩として、緩和策の一種として、隨意科とするといつたやうな教育行政の方面の考を背後に持つてをつて……」といふことを慮れる所にあるのではないかとみられても仕方があるまい。

英語科を廢されたり縮減したりされると現在の英語教員はどうなるか。之は確に重大な問題でひとり英語教員のみのものでなく、重大な社會問題である。然し英語科の廢減問題と之とは關聯はあるが、別にして論じなければならぬ性質のものである。國家百年の計と

英語教員パンの問題とは全然性質が異なるからである。さればこの座談會が眞に開催の目的に忠實である爲にはどうしても確に存在し、且つ社會的影響の大なる所論を取上げて、吟味検討し廢滅の非なる所以を社會に首肯せしむべきである。さもないれば、敵は本能寺かとの疑を起さしめないとも限らぬ。現にこの座談會記録を贈られた七月十三日には東京府中等學校英語教員會がこれに關聯する會合を開催した。其の記事が新聞には「英語教員の生活を脅威する短縮案絶対反對の氣勢をあげた云々」といふ風にのみとられてしまふのではあるまいか。

今日英語科に對して如何なる論がなされゐるか。如何なるものが輿論であるか。これをはつきり擱まなければ是非の論は立てられないといふことは既に述べた通りである。

それについて櫻井役氏がはつきり言つてゐる。即ち

「英語を全廢してしまふといふ様な意見については餘り考へる必要はないのぢやないかとおもつてゐます。……英語は必要であるといふことは感じないのではないが、他學科との均衡上もつと時間を減らしては効果は擧げ得られないものかどうか。女學校などに於ては特に其の感を深くするのですが入つてくる生徒全體一人残らず英語をやる必要があるかどうか。……結局するところ、隨意科といふ様なことにしてしまふか、或は中學校の場合ですと三年位まで全部に課し、後は隨意科なり、或はもう全然課さないものもあるといふやうなことで宜しいのぢやないかといふ意見なんです。」

櫻井氏のこの意見はまことに世人の言はんとしてゐるところをつくしてゐるものと私は見る。英語科に對して現状のままではいけない、時間減少なり或は他の方法で何とかせねばならない、といふのが現代人の通念である。三上氏にしても決して英語全廢論や不要論を唱へてゐるのではない。實に此の點をさして居られるのである。議會の速記録を讀めばよく分る。結論にかういつてゐる

「結局ハ文部省ニ於テモウ少シ御一新以後ノ教育ニブラ下ガツテキル所ノ西洋教育ノ殻

ヲ取去ツテシマツテ、日本教育ノ元ノ道ニ還ツテ戴キタイトイフコト、ソレニハ最モ大キナ穀トシテ外國語ノ時間ノ、扱ヒタイトイフモノヲ切ニ御考慮ヲ願ヒ致シタイト云フコトデアリマス」。

全廢せよといふのでもなく、不必要といふのでもない。現状のままでは現實の日本人教育に適切でない、何とかせねばならぬといふのである。

このことは帝都教育會調査部發表の「中等教育ニ於ケル外國語(英語)ヲ如何ニスベキカ」を見れば一層よく分る。その中の對策を記すと、

一、中學校ニ於テハ第三學年マデハ必須科トシ、第四學年以上ハ之ヲ缺キ、又ハ隨意科トナスヤウ法規ヲ改正スルコト。

二、高等女學校及實業學校ハ現在通り。

三、生徒ノ學習負擔ヲ輕減シ且ツ教授ヲ一層効果的ナラシムルヤウ中學校ノ取扱ニ一改善ヲ施スコト。

右の案に依れば、高等女學校及び實業學校は現在通り、とあるが、之には若干の説明が要る。高等女學校の現在の規定では、「外國語ハ之ヲ缺キ又ハ隨意科トナスコトヲ得」となつてゐる。即ち認可を得さへすれば英語を全廢し又は隨意科とすることが出来るし、又右の案の中學校の様に三年(又は二年)まで必須科とし四五年を隨意科とすることも出来るのである。高等女學校に關しては現在の規定を以てしても相當に融通性がある。けだし、土地の狀況及時勢に適合するの餘地を與へ、教育をして眞に實生活に即せしむるところに其のねらひ所がある。

凡そ眞の教育は高邁な理想を有ち、環境に即し、時代と共に歩む所にのみ建設される。それ故、中學校に於て、英語を全廢し縮減し、或は半必須科とし、半隨意科とし或は又全然隨意科とするかといふことは各々の學校の事情に依り異なるべきである。決して之を嘗てはなやかなりし英語に對する反動とのみ見ることは出来ない。明治時代に於て英語不要論を唱へるの愚は、今日なほ其の必要論にしがみついてをるの愚と選ぶところはない。ともに時代に對する盲者である。

凡そ今日程世界各國に於いて、一方では自主的傾向が強く、他面國際協調を必要とする時代は他に其の例がなからう。此の時代に於て、過去六十年の間先進文明國の跡を追ふに急であつた日本が、眞に日本の進むべき道を求めることは當然である。従つて日本教育の檢討再建が叫ばれるのも必然であつて、中等學校に於いて、長い間過當に評價されて來た英語科に對し正當な評價を與へ、正常な地位を與へようとするこゝも、時の流れとはいへ眞實に日本の爲を考へる人々の心からなる叫びである。

かくの如く考へ來る時、中等學校に於ける英語科に對して何程かの縮減を行ふのは正しい輿論であると斷じてよい。ただ其の程度は時代及び環境が織りなす各學校の事情が之を決定し、或は現状を維持し、或は、漸次縮小を試み或は斷然之を廢することにならう。これが日本教育に於ける英語科の運命である。

かつて治外法權の撤廢、對等條約の締結によつて日本は獨立國たるの體面を獲得した。次に外國語から、開放されることによつて内面的に實質的に眞の獨立國を完ふするものと言へやう。即ち國語の對等を主張する所以である。

然るに一方に於ては交通産業の發達と共に益々國際協調を必要とされてゐる。國語の對等權を主張しながら國際協調を説く——一見二律背反の如き主張こそ完全なる國家の叫びであるとすれば、其の解決の鍵はどこにあるか。其の鍵こそ國際語である。中等學校における英語の退却は同時に國際語の進出でなければ意味をなさない。

國際語については、私は適任でない、別に語る人がある。ただ吾人の主張は「日本人とは日本語で、外國人とは國際語(即ち 에스ペラント)で」といふのであるが其の詳細は茲には略す。

以上簡單ながら、英語科の根本問題を論じ英語教授研究所の人々の談議に關しいささか疑義を述べて指教を乞ふ次第である。

女學生と外國語

飯塚高等女學校教諭 片山政子

この度ラ・レヴオ・オリエンタ紙の依頼に依る中等學校語學問題とエス語なる論題に對し私は高等女學校に奉職している關係上専ら女學校語學問題とエス語に就て述べて見たいと思ひます。この四月より東京府立第六でエス語を正科にお入れになつた事を「エスペラント」誌上で知り非常に心強く感じました。私個人の希望としては現在私の學校に於ける英語教授時間數一週三時間より割り出してエス語二時間を志望するものには英語一時間。英語二時間のものにはエス語一時間の二クラスを作り、生徒をして自由に選擇させて語學能力の増進を圖ることは可なり理想的なものではないかと思ひます。もつと時間があれば更に結構ですが他の學科數が多いため普通の高等女學校に於てはこれ以上の時間は許されないだらうと思ひます。高等女學校に於ける英語廢止が可なり喧しく問題化され外國語教育賛否は區々として容易に妥協されさうもありませんが外國文化が世界化そうとしている今日男女を問はず一定の外國語の修得は今日の世界人としての常識であると思ひます。英語廢止を双手を舉げて賛成してられる方の中御自身の教授に生徒の理解に困難なる英語を往々使用される事は何を意味するのでせうか。

中等學校の頃は知識欲の旺盛な時ですから教授者が最も効果的な新しい教授法を以つて生徒の語學力をのばし引いて最新の知識を彼等に吸収せしめる事が最も親切な方法ではないかと思ひます。ではエス語を何の目的で中等學校の正科に入れやうと企てるか

I. 概して女學校に於ては卒業後上階學校に進む者が少數ですので卒業後家事に従事する者の爲に比較的少ない時間で理解容易なエス語を以つて外國語の知識を與へ彼等の見識を高めしめるため。

II. 高女程度では漸次普及されつつある英語以外の外國語を研究する事は絶対に不可能なるため多分にこれらの國語の含有せるエス

語を教へてそれ等に對する豫備知識を與へ且國際意識を高潮せしめるため。

次にエス語教授がどの點英語の理解を助けるか

I. 容易なるエス語の學習に依つてエス語會話通信に慣れしめ引いては英語の學習に對する興味を助長する事が出来る。

II. エス語中に於ける英語の含有率が多いため英語の理解を促進する事が出来る。

ではエス語教授が英語よりも容易に思はれる點に就て述べて見よう。

I. エス語の發音が英語よりはるかに容易なること。例へばエス語は一字一音なるに對し英語は然らず。

II. 文法が簡單明瞭なること。例へばエス語は品詞語尾の變化が一定せるに對し英語は不規則なるもの多し。

偕英語教師がエス語を學ぶ事は容易であるから英語教師は率先して學び且教授することは生徒の指導上望ましいことだと思ひます。最後に私の意見としては今後上階學校に進む者には英語教授に重點を置きそうでない者にはエス語を主として教授し婦徳涵養の一助としたいと思ひます。以上。

英語は國際語だとよく云ひますが、ヨーロッパへ參つて國際會議に出てみますと、フランス語ならば確に國際語だといふことが感じられます。けれども Broken English ではフランス語の様に判つてもらへない。そのためずるぶん肩身のせまい思ひをしたのでした。私が英語を使ふ程度のブローケン程度でもフランス語ならばこれは堂々とやつてのけられます。…(東京朝日前田多門氏談——第一回言語問題座談會速記より拔萃轉載)

英語教師がエス語を受入れ難い諸點

芝中學校教諭 佐々城 佑

御質問に對して勝手な順序で、勝手な項に就て返事をさせていただきます。

英語教師はエス語教師に適するか 本誌で金澤商業の菅野教諭が一再ならず英語教師にエス語の必要を懇々と説かれ、英語教師をエスペランチスト化する事の困難を述べられて居ますが、私も一英語教師として常々その困難を痛感してゐながら未だはつきりした打開の路を見出し兼ねてゐる者です。

英語教師がエス語を受入れ難い最大理由として次のやうな事が考へられませう。

その第一は英語そのものが地方的だといふ事です。dog や cat が濟むか濟まない内に直ぐぶつかるものは英國といふ土地に附屬した地方色です。地理、歴史は素より、住民特有な習慣、これはただ習慣と一口には云へぬ複雑性をもつてゐるので、之を呑込むにはその土地に生れ、その土地の家庭に育ち、その土地に住んでゐなくては本當に分らない。それに彼等の考方の基調をなしてゐる宗教、傳統、傳説、童謡、童話等も知らねばならない。優良な教師であればある程、研究心が盛なれば盛なる程、非常に地方的な研究に迄入つて行かねばならないのです。だから優良な英語教師たらんためには英國人以上の英國人にならねばならぬと云つても甚しい誇張ではないでせう。

もう一の困難は背後に生活問題が伏在してゐる事です。一人が死なねば一の空席が出来ない迄に詰まつてゐる就職難、毎年續々と出て来る新進氣鋭な候補者の大群集、その上最近問題に上つてゐる學年や授業時數を短縮して効果を現在以上に高めると云つたやうな企等は英語教師を驅つて益々局部的な研究と氣持に導くのです。そういふ状態に置かれた者から見るとエス語は閑人が閑潰しにやる位にしか見えないのです。

我々既にエス語をやつた者から見ればエス語の學習が英語の學習なり、教授なりに非常に役に立つ事は分りきつた事にせよ、未だや

らない人にとっては、そんな漠然とした、鵠式のどつちつかずの人造語（とより彼には思へないでせう）より、少しでも餘裕があれば古代英語なり佛蘭西語なりをやつた方が利益だと思ふでせう。それにエス語はどんな國語と比べても比較にならぬ容易な言語であるにせよ、少くとも一二ヶ月は没頭しなければならぬ。此の餘裕（時間より寧ろ頭の）が英語教師にはないのです。

言語上の利益といふ點を離れて、次の世の言語（國際語又は世界語）としてエス語を習得すると云ふ事は我々エスペランチストにとつては、眼前に迫つてゐる緊急な問題で、此中に我々を驅つて絶えず前進させるものを見出しますが、彼等にとつては現實味のない迂遠な空想としか映らないのです。

以上英語教師がエス語を受入れ憎い悲觀材料を並べて見ましたが、英語教師を獲得する参考にもと思つて書いて見たのです。

尤も上述の對象とした英語教師とは攻學心の強い即ち英語だけで手一杯の人々を指したのですが攻學心のない部類の人々本職の英語も碌に研究しない人々はエス語の問題を持つて行ても、てんでハナさへひつかけない連中でせう。

かう英國に局限された、世界といはず歐洲にさへ眼を向ける餘裕のない英語教師がエス語教師として絶望かと云ふに、強ちそうとは斷言出来ないと思ひます。英語科が廢止にならない迄もエス語を職業的にやれると云ふ時になれば、自然地方的な鎖から解放され、これ迄英語から得た言語學習の素養なり、教授法なりが直接役に立つて來ませうから、全く教授法や言語學習の苦汁を嘗めない人々よりは遙に勝れたエス語教師となる事が出来ると思ひます。

中等學校に於ける外國語の必要 英、佛、露、獨、伊、支等の諸外國語を中等學校の課程に入れる事は望ましい事でせう。習つた言語が所謂「役に立つ」か立たないかは別問題と

中等學校語學問題とエス語

上智大學佛語講師 田 沼 利 男

メ切が迫つて時間がないし、僕は中等學校で英語を教へた経験もないので、簡単に自分の感じた事を述べよう。

中等學校の語學として英語エス語併用がよいか英語のみがよいかと云ふ問題については一年から三年位までは、エス語のみがよいと思ふ。小さい子供に始めからむづかしい英語（佛語、獨語は尙更）を教へることはザンコクであるし、エス語から入つた方が少い勞力で一層多くの効果が得られると思ふ。

中等學校で外國語は必要か？ 僕の考へでは現代の日本に於ては明治の初年と異り、外國語は一般國民にとつてそんなに必要でないと思ふ。又、一方から云ふと、語學の才はそんなに普遍的なものではないから、少數の才能あるもののみがやるべきである。然しやるとすればなるべく早く始めた方がいいから、中學校からやるのが丁度よいと思ふ。だから中學校では外國語は隨意科にするがよいと思

して、これ迄に想像もしなかつた様な體系の言語に接する事は、ただに視野を広げる許りでなく言語的に日本語の上にも反射するでせうし、又諸種の利益を伴ふでせう。ただ現實の問題としては、經費から見た丈けでも實現は覺束ないでせう。

エス語、英語が中等學校に採用される場合 エス語、英語を同時に始めるより、最初の二年間程エス語をびつしり、現在英語に費してゐる時間數丈け課し、エス語の基礎を頑丈に築上げる事が必要でせう。二ヶ年のエス語學習で歐洲語の組織を呑込む事、エス語と共通の英語の語根を千以上覚える事はさして困難ではないと思ひます。かう云ふしつかりしたエス語の基礎が出来てゐれば、英語はあとの三ヶ年（四年制が布かれて、殘二年丈になつ

ふ。語學の才能のあるなしはエス語を一、二年教へてみれば一番よく判る。

高等女學校でも隨意科にしてよいと思ふ。

高等程度の學校でも語學は隨意科にしてよからう。現在のやうに語學の才能のない學生にも一様に第一外國語第二外國語と云ふペラポーなものを強ひるのは愚の骨頂だ。

最後に佛語教師として感じた事を少し。佛語は英語に比べると可なり面倒な複雑な言語であるが、エス語から入れば非常に樂に出来る。英語をやつて佛語をやるよりも、エス語をやつて佛語をやる方がずっと樂だらう。此の意味から云つて、佛語の研究を志すものは先づエス語をやるべきだと思ふ。エス語をやつてから外國語（英佛語に限らぬ）をやることは丁度デッサンをやつてから繪の具を使ふやうなもので、最も自然な無理のない道筋であらう。

ても）一週五六時間の學習で現在の中學卒業程度の實力を得る事は寧ろ容易な事でせう。そしてエス語の方は英語と並行させて、週一時間も續けて居れば中學を出る迄には立派に實用の域に達します。

高等學校の語學 エス語が中等學校の唯一の語學となつたと云ふ愉快な假定の下に於て、高等學校の科目も凡て日本語かエス語で出来るなら格別、現今通り夫々の外國語で讀まねばならぬ場合、その調節策としては、高等學校の最初の一二年を各科目に重要な外國語に充てればその一二年の學習丈けで現在やつてゐる英語の程度迄には樂に追付けると想像されます。

高等女學校の外語問題 女だから外國語は不要だなどと云ふ議論は難しく分り兼ねます

エス語講習をうけて感じたこと

金澤商業學校生徒 越 野 芳 雄

昨年四月我々百五十二名が金澤商業に入學した際、一年生の英語受持の先生で、又非常に熱心なエスペランティストでゐられる菅野先生より、エスペラントに就て色々の御話を承はり英語を學ぼうとする者は先づエスペラントから始めなければならないと言はれました。間もなく先生はエスペラントの講習會を開かれやうとして、その會員の募集をせられました。その時、152 人の一年生の中 100 人まではそれに應じました。然し此の講習會も何所の講習會にもある例にもれず、講習生は段々と減つて、學期末にはやうやく 25 人程になり、二學期の始めに又新に募集したのがその終りには三分の一位に減じ、更に三學期に入つて募集した者も段々に減つて今では最初からの講習生も全部一緒にしてやうやく 25 人位の會員を持つてゐます。

私はエスペラント講習會の盛にならないことについて或る時以前我々と一緒に講習を受けたことのある學友 A に尋ねたら彼は「成程先生の言はれる通にエスペラントは英語よりもずっとやさしい。然しエスペラントの何所が一體英語の爲になるのか。それは何にも英語の爲にならないのみならず、英語と同時に習ふと兩方混同してかへつて英語が分からなくなつたから止めた。」と答へた。又 M は「僕は米屋の息子だ。どうせ米屋になるんだから英語は要らぬ。だから僕は英語なんかどうでもいいと思つてゐる。その英語の上になほエスペラントなんて思もよらぬ事だ。」と言つた。又 F は「君のエスペラントに對する努力を英語に用ひたならば英語は一層よく分るだらう」と言つて呉れました。その外色々と言つて呉れる者がありましたが、皆我々の運動に對してよく思つてゐないらしい。

A 君の言ふ様に、エスペラントは何等英語の役にたゝないと言ふのは、或は本當かも知れないと始めに思つた。然しよく考へて見ると丁度父母の恩や、稻を作つて呉れる百姓の恩が餘りにも廣大なる爲に我々が平生氣付かないやうに、エスペラントが英語の習得を助ける恩が餘りにも廣大なる爲に彼等は氣付かなかつたのではなからうか。その證據として僕は英語に對して他の者達がいだいてゐる程困難な課目だと思つてゐない。他の者達が英語の考査に向ふ八巻をして、うんうんうなつてゐるのに比べると、僕はそのやうに苦しい思をせず済んだ。之はきつとエスペラントの講習を受けてゐる爲でなからうか。又エス語と英語の混同は、或はうつかりするとするかも知れないが、之も各自の努力と各自がそ

れぞれよく氣を付けることによつて絶対に混同しないやうになると思ふ。又 M の様に英語は知らなくてもいいと言ふ考は、此の學校に學ぶ者の七割までは皆そう思つてゐるだらう。然しそれこそ愚の至りだ。大きな造物の神の造られた此の大宇宙間の事を、小さき人間共がどうして未來の事までも知る事が出來やうか。卒業後如何なる變化によつて英語を必要とする業に就かねばならないかも知れない。若し英語が要らないとしても、他人が之に對して努力してゐる時自分丈が遊ばないで同じやうにやつて置けばよいではないか。英語排斥なんてことは今後英語の廢れた時ならとも角、今日この様に英語が世界の商業界に重きをなしてゐる時、他日實業界に立つて雄飛しやうとするものにとつては要らぬお世話だ。又 F の言ふ様にエスペラントをやめて英語に専念しなくても、自分はエスペラントをやりながら英語に就ては先生の言はれたことはよく分る。エスペラントに對する之位の努力で他國の同志から色々爲になることを知らして貰つて知識の習得に大に役立つのにどうして止められよう。

今後エスペラントを中等學校の初年級に英語の補助として課するならば始め一年、或は一年半だけ徹底的にエスペラントのみを教へて後で英語を始めるのが双方一緒に課するよりもよいと思ふ。何故ならば、双方一緒に課するならば、一部分の生徒に對してはきつと A のやうに混同する恐れがあるだらう。

以上一年四ヶ月間のエスペラント講習に於ける僕の感想であります。エスペラントが英語に對してどれ丈の援助となるかをよく確める爲には、僕は身體と精神を各々二つ用意して置きたいと思ふ。即ち一方は最初にエスペラントをやつてから英語をやり、他方は最初から英語丈をやつて後で此の二つを比較して見て始めてはつきり知る事が出來ると思ひます。

いづれにしてもザメンホフ博士がエスペラントを創造したのは、英語其の他の外國語習得の便宜を計る爲でなく、世界の平和を計る所に目的があるんですから、我々は今ではエスペラントを英語習得の爲に利用するなんて小さな考を捨てゝ、大いに外國通信をやつて他國の同志と固く手を握つてその目的達成の一助とせねばならないと思つて居ます。そして又之がザメンホフが我々に残していつた最高、最大の使命ではなからうかと考へてゐます。

英語教授はエス語から

金澤商業學校教諭 菅野祐治

「英語は外國語入門として適せず」「五年間通じて英語を教へるより先づエスペラントを一年なり二年なり教へて後英語を教へた方が遙かに英語教授そのものの効果を擧げ得る」「これが拾數年にわたる英語教師としての自己の経験の教ふる處である」。本文は此の所見を概説してみたものである。

第一部 發音に就いて

1. 母音に就いて

一年生の英語の授業に於て一番困る事は發音である。然も母音の發音である。日本語に於ては“アイウエオ”の五つしかない。英語に於ては“i:, i, e, æ, u:, ɔ, ɔ:, u, u:, ʌ, ə:, ə, ei, ai, au, ɔi, ou, ɛə, uə, iə,”の二十個ある。“外國語發音學習の困難は子音ではなく、母音にある。例へば英語の bard (ba:d), bird (bɜ:d), bad (bæd), bud (bʌd), bite (bait)...などの母音は我々日本人の耳には皆“あ”としか響かない。先天的に“アイウエオ”の五つの區別しか出来ぬ日本人が此等の發音を區別してやる事が果して本當に出来るだらうか。”

2. 英語は子音本位（日本語は母音本位）

その上日本人にとつて英語學習の困難は日本語が母音本位の言語であるに反し、英語が子音本位の言語である事である。“ン(=n)”を除き日本語では子音で終る綴りはない。随つて初歩の英學生が母音を切離して子音だけ發音する事に困難を感ずるのは無理がない。That is a dog. これを一年生が發音して“ザット イズ ア ドッグ”(zatto izu a doggu). 教師が如何に喧しく直しても直し切れないのは無理もないと思ふ。それで中等學校に於て第一學年の授業に於て毎年第一學期の授業は殆んど無駄になる實狀にある。英語の發音が日本の子供には餘りにむづかし過ぎる處から基本的な發音の練習に殆んど學期の全部を使ひ盡さねばならない。然も一月半の暑中休暇の爲に生徒はもと通りになつて歸校する第二學期の初めに再び phonetic drill (基本的發

音練習)を繰返さねばならない。

3. アクセントに就いて

更に困るのはアクセントの事柄である。英語に於ては其の所在する箇所が實にまちまちである。某氏の英語發音教科書に「アクセントが何處にあるかを知る事は仲々難しい。それに就いて大體の法則を立てる事も出来るが寧ろ各々の語を幾回も發音練習して無意識に正しく發音出来る様になるのが最も好い方法である。」と。成程アクセントを教ふるとしてはそれは好い方法かも知れない。然し何萬とある英語の單語の一つ一つに就いて“無意識に正しく發音出来る様に”幾回も發音練習をなすべく、私の生徒は餘りにも怠惰である。否、そんな無駄な事に貴重な彼等の精力を消耗せしめてはならないのである。

4. エス語は一字一音、一音一字。英語はその反對。

發音學上から觀て言語の理想形態は云ふ迄もなく一字一音、一音一字だ。即ち一の文字の發音は二通りはなく、又一の音を表はす文字は一つしかないのが本則だ。此の點から觀て英語は實に“世界最惡の國語”である。例へば a と云ふ一文字は came (keim), cat (kæt), call (kɔ:l), father (fa:ðə)...などと多様に發音される(即ち一字多音)又 f も ph も同音を表はす。

a と ð も同音(即ち一音多字)。だから英語では一々字引を引いて先づ發音を調べねばならない。(それを生徒がやらないからあの様な天下一品の發音になるのだ!)。これ位不合理な事はない。元來綴りと云ふものは讀む爲に書綴つてあるのだ。それを綴つてある通りに讀んではいけないと云ふのだからこれ位不合理な事はない。だから生徒に發音を喧しく云ふと綴りがおろそかになる。綴りを喧しく云ふと發音がおろそかになる。全く無理もない話である。“little”と書いておいて“リットレ”と讀むな。“wolf”と書いておいて

“wolf”と讀むなと云ふ。若し“litl”, “wul-
lf”と讀ませたいのなら初めからそう綴つて
おくべきだ。目の前にぼた餅を見せつけなが
ら喰べてはいけないと云ふ。喰べさせたくな
いのなら初めから見せぬ事だ。鼻の先に見せ
つけながら喰べてはいかぬと云ふ。實に英語
教師とは殺生な事を云ふ者である。サイレン
ト（發音しない文字）にしても亦然り。

實に厄介な“代物”と申す外はない。

第二部 文法に就いて

一般に云はれる處によると英語は發音は難
しいが、文法は簡明で分り好いとの事である。

然し仔細に調べてみると英語の文法程様々
の繁雜さと不合理が山積して居る、随つて分
り難いものも少なからう。

1. 疑問文及び否定文の作り方に就いて

初歩の英學生が最も困難を感じる事の一つ
は、英語に於ては、状態を現はす動詞 (state
verb) と動作を現はす動詞 (action verb) とで
疑問文、否定文の作り方が違ふ事である。即ち

a. 疑問文に於て

state verb の場合（動詞が主部の前に出
て疑問文を作る）

Am I?	Are we?
Are you?	Are you?
Is he?	Are they?
Is she?	
Is it?	

action verb の場合（文の先頭に do なる
助動詞を付けて疑問文を作る。語の順序に變
化なし。）

Do I like?	Do we like?
Do you like?	Do you like?
Does {he she it} like?	Do they like?

b. 否定文に於て

action verb の場合（do なる助動詞を持
ち來りそれに否定詞 not を付す）

I do not like.	We do not like.
You do not like.	You do not like.
He } She } It }	does not like. They do not like.

state verb の場合（動詞の後に直ちに not
を付す）

I am not.	We are not.
You are not.	You are not.

He } She } It }	is not. They are not.
-----------------------	-----------------------

一見何でもない事の様であるが、實はそう
ではない。初學者は實によく誤をおかす。無
理もない譯だ。第一日本語ではこんな區別は
全然ない。假に疑問文であれば動詞が何であ
らうが、文の終りに“か”と云ふ字を付け
たらもうそれで好い。事實またそれで好いの
だ。状態を現すから動作を現はすからと云つ
て區別しなければならないと云ふ、何等本質
的な理由はないのだ。動作に關係のある“do”
なんて助動詞を使ふから窮屈になるのだ。此
の點エス語が文の先頭に“êu”なる語を付
けたらそれで直ちに疑問文となるとした事は
至當な事である。

且又實際に於て state verb と action verb
との區別が極めて判然しないものがある。即
ち“所有”を現はす“have (持つて居る)”
が state verb として扱はるるに對し、know
(知つて居る), live (住んで居る), like (好い
て居る)、等の動詞が action verb として取
扱はれて居る。一體“知る”, “住む”, “好
む”, てどんな動作かと云ひたくなる。然かも

How many terms *do* you *have* in a sch-
ool year?

なる文章が大きな顔して教科書の中に出て來
るに於ては我また何をか云はんやだ。

2. 第三人稱單數現在形に就いて

英語に於て第三人稱單數現在に於て動詞の
語尾に s を付ける事は日本の英學生には見落
し易い事柄である。然し考へてみれば無理も
ない事と思ふ。日本語に於ては斯様な規則が
ないのみならず、その s を付けなければなら
ない理由がはつきりしない。若し第三人稱な
るが故に何等かの變化を必要とするなれば第
三人稱複數に於ても同様に何等かの變化に出
づべきであり、又第三人稱單數現在に於て變
化が必要なれば第三人稱單數過去、未來に於
ても何等かの變化を必要とすべき筋合だ。先
づ state verb に於て現在に於ては I am, You
are, He (she, it) is, と總べて動詞の形が違
ふ。然るに過去に於ては I was, You were,
He was と一人稱, 三人稱は同形であり、未
來に於ては I shall be, You will be, He

will be, と二人稱、三人稱は同形である。又 action verb に於ても現在 He stands up; 過去 He "stands" up; 未來 He "wills" stand up. とはならない。若し第三人稱單數でも過去未來に於て何等の變化に出る要なきものとすれば同様に第三人稱單數現在に於ても何等變化に出づる必要がないではないか。特に第三人稱單數現在に於てのみ語尾變化を必要とする理由を遂に發見するを得ないのである。

次に助動詞 does に就いて

He dose not speak Esperanto.

Does he speak Esperanto?

上二文に於ける does は理窟を云へば do で好かるべき筈である。元來助動詞なるものは數、人稱の如何にかかはらず常に同一なるべきものである。第三人稱單數だからと云つて He "cans" speak. He "musts" speak. とは云はない。然るに do に限つて does と變化するのは如何。要するに誤りである。do には動詞の do と助動詞の do とがあり、動詞の do は第三人稱單數に於て does と變化する。それに引づられて助動詞の do も does と誤つたものとし考へられない。

3. 過去形に就いて

前述の如く狀態を現はす動詞 be は現在に於ては第一人稱單數の時は am, 第三人稱單數の時は is である。然るに過去に於ては第一人稱單數、第三人稱單數共に was で、區別がない。若し現在に於て區別の要あるものなれば過去に於ても區別の要あるべきであり、若し過去に於て區別の要なきものなれば現在に於ても區別の要なかるべき譯のものである。此の點エス語に於て現在なれば數、人稱の如何に拘らず estas, 過去なれば同様數、人稱の如何に拘らず estis, 未來なれば同様 estos であり、この方が合理的でもあり簡單でもある。

4. 未來形に就いて

未來の意味を現はす助動詞は第一人稱では shall, 第二第三人稱では will である。だから疑問文に於ては Shall I? Shall we?; Will you? Will he? Will they? となるべき筈である。(何故なれば總べて助動詞を含む普通文より疑問文を作るには單に其の助動詞を主部の前に出せばよいのであるから) 然るに實際

に於てはそうではなく、Shall you? と云ふ形を第二人稱單複數に於てとる。若し You will のその儘逆になつた形即ち Will you? となると、第二人稱の意思を尋ねる形と云ふ全然違つたものになる。甚だ妙な事である。然も更に妙な事は第一人稱と第二、第三人稱の未來の意味を現はす助動詞が誤つて逆に用ひられると即ち

I will,	We will,
You shall,	You shall,
He shall,	They shall,

單純なる未來ではなく、實に飛んでもない意味になる事である。實におつかない次第である。I shall die が I will die になつたり、You will die が You shall die になつたり實に以て物騒千萬な事である。

5. 假定法に就いて

英語の學習に於て學生が最も困難を感じる事の一つは假定法の學習である。即ち時の如何によつて次の如く文法形式を異にして居る

I 現在の事實に反する假想を現はすには Subjunctive past を用ゆ。

If he were here now, he would defend us.

If I had much money, I should be happy.

II 過去の事實に反する假想を現はすには Subjunctive past perfect を用ゆ。

If I had gone there, I might have been killed.

If I had been well enough, I should have gone.

然るにエス語に於ては其の時を異にするの故を以て假定法に二通りがない。抑々假定法は事實の裏で、事實の“時”は話中の“時”によつて定まるものである。例へば昨日の會合の話をしてゐて“彼が居たら、Se li estus …”と云へば過去の事實の裏であり、又今現に會合中であつてそう云へば現在の事實の裏を云つて居るのである。だから時を異にするの故を以て方法形式を二通りにしなければならない必要はないと思ふ。

6. 不定冠詞に就いて

エス語には所謂不定冠詞なく、定冠詞 la があるのみである。英語の不定冠詞 a は不必要なしろものである。若し不定を示すものなら複數にでも同様に a books などと付すべ

きであり、又若し單數を示すのみの役なれば名詞自身の單複數の形がある以上、正に蛇足である。

It is a big book. 然るに It is a my book. It is my a book. とは云はない。然し共に形容詞と云ふ意味に於ては big も my も何等變りはしないではないか。又 It is a very good book. What a good book it is! と云ふなれば Is it a good book? What a book is it? と云ふべき筈ではないか。兎に角英語の a は不可解なる“しろもの”である。

7. Many, much に就いて

複數とは數へ得る有形普通名語に限つた語で、數へられぬ物質名詞や抽象名詞には複數形は元來ないのである。従つてエス語に於て multa と單數形なれば“多量”，multaj と複數形なら“多數”の意。英語に於て多量 = much, 多數 = many と別な形容詞を用ゆる事は“無くもがな”な事である。

8. 代名詞の格の變化及び目的格に就いて

I. 英語の代名詞の格の變化は次の如く極めて不完全である。爲に時に文意がまぎらしい事がある。

I	my	me	
you	your	you	主格 目的格 同形
he	his	him	
she	her	her	所有格 目的格 同形
it	its	it	主格 目的格 同形

エス語に於ては所有格は主格の語尾に“a”，目的格は“n”を付ける。極めて簡單、然もはつきりして居る。

II. 英語に於ては第三人稱に於て“自身”を示す代名詞（エス語に於ける“si”）が無い爲にかかり工合がはつきりしない事がある

John went with Peter and his brother. に於て“his brother”が Peter の brother か John の brother かはつきりしない。エス語であればはつきり分る：

Johano iris kun Petro kaj lia frato.

Johano iris kun Petro kaj sia frato.

III. 英語に於ては代名詞に目的格の形があるにも拘らず名詞に目的格の形がない。これは極めて妙な事である。

He is a boy. This is his book. I know him.

Frank is a boy. This is Frank's book.

I know Frank.

又“私はエス語を話す”

→ I speak Esperanto. Mi parolas Esperanton. →

上記二文中何れがより合理的なりや。云はずして明らかならむ。

9. 間接叙法に就いて

日. 彼は父が横須賀市に住んで居ると申しました。

英. He said that his father lived in City Jokosuka.

エス. Li diris, ke lia patro loĝas en Urbo Jokosuka.

英語では主文章が過去なら従属文章も無條件に過去にするが、エス語では“現在住んで居る”と云ふのだから“loĝas”と現在形を用ゆる。此の方がより論理的でもあり、日本語にも近い。

10. as...as に就いて

The River Shinano is as long as the River Ishikari.

The River Shinano is not so long as the River Ishikari.

上例の如く英語では

肯定の時 as...as, 否定の時 so...as,

と云ふ風に違ふ。然し、既に否定詞 not がある以上その上更に區別する必要は少しもない。故にエス語では肯定否定とも同じである。

Rivero Ŝinano estas (ne estas) tiel longa kiel Rivero Iŝikari.

11. 疑問詞 where に就いて

Where are you going? (何處へ)

Where do you live? (何處に)

上記二文に於て where の意味が違ふ。先の文は論理的に正しく云へば To where are you going? と云はねばならないのである。エス語に於ては此の場合次の如く區別する。

Kien vi nun iras? (Al kie vi nun iras?)

Kie vi loĝas?

12. 分詞形に就いて

I. 英語では“發動現行、(動詞 + ing)”，“受動完了、(動詞 + ed)”の二分詞しかない。然るにエス語に於ては次の六つ

現行(現在) 完了(過去) 未然(未來)

-ant -int -ont

-at -it -ot

其の結果エス語なら非常に簡単に云へる事

が英語ではそう簡単には云へない。

Mi estas skribanta la leteron. (I am writing the letter.)

Mi estas skribinta la leteron. (I have written the letter.)

Mi estas skribonta la leteron. (I am going to write the letter.)

La letero estas skribata de mi. (The letter is being written by me.)

La letero estas skribita de mi. (The letter has been written by me.)

La letero estas skribota de mi. (The letter is about to be written by me.)

更に英語では現在分詞が形容詞である場合と名詞である場合とがあり、まぎらはしい。尤も名詞の時は、現在分詞と呼ばず、gerundと文法上特別な名称はあるが、形に於て同じ事である。

He is reading. (形)、He is fond of reading. (名)。

He is speaking. (形)、He is tired of speaking. (名)。

II. 尙又次の例において

Promenante sur la strato, li falis.

Trovinte pomon, mi ĝin manĝis.

上は falis した時には promeni して居たので現在分詞を使つたが、下は manĝi した時には trovi し終つて居たから過去分詞を使う。英語で書けば

Walking in the street, I fell.

Having found an apple, I ate it.

何れが分り好いか云はずして明らかである

13. in と into に就いて

The man jumped into the pond.

此の場合 “into” が “in” ではない。in は静止状態を現はし、運動状態を現はすには “into” を用ひるのが普通だから。然るに Again he jumped in.

此の場合 “into” ではない。 “into” は前置詞で副詞ではないから。副詞の意味を併せ有する “in” を用ひねばならない。少し妙ではないか。

14. 前置詞に就いて

英語に於ては或る名詞の前に使用される前置詞が定まつて居て、どうにもそれではなければならない。

太陽は東からのぼり、西へ沈みます。

The sun rises in the east, and sets in the west. 其他 in the morning (evening), at noon (night)

on (day), in (month), at (hour)

in the ground, on farm, in the sand, in the knees. (砂の上で、膝の上で)

15. 一字一意、一意一字に就いて

言語の理想としては單に一字一音、一音一字であるのみでなく、一字一意、一意一字でありたい。此の點から觀てエス語は遙かに英語に優る。と云ふよりもそれ程英語の單語の意味は多種多様だ。例へば “capital” と云ふ字は如何、kapitelo (柱頭)、ĉefurbo (首府) kapitalo (資本)、majusklo (大文字) 等、其他一寸思付く丈でも

“succeed”; sukcesi (成功する), sekvi (繼承する)

“ask”; demandi (尋ねる), peti (頼む)

“second”; dua (第二の), sekundo (秒), subteni (後援する)

“industry”; industrio (工業), diligenteco (勤勉)

“fast”; rapide (速く), profunde (ぐつぐつ), fasti (斷食す)

“large”; granda (大きな), libera (自由な) 等々枚舉に遑あらずと云ふのが本當である。

16. 語の配列の順序に就いて

英語には動詞に命令形と云ふ特別な形がない。それで命令文に於ては通例主部を省略し動詞を先頭に置く。だから動詞の位置が固定する。又名詞に目的格だからと云つて特別な形がない。斯様な次第で單語の配列の順序は自由と云ふ譯には行かぬ。然るにエス語に於てはそれが自由に出来る。云はんとする氣分を充分よく現はす様又口調の好い様に單語、を並べれば好い。此の事柄は我々が自國語ならぬ “外國語” を話す上に如何に便利であるか蓋し想像に餘るものがある。

“子供が犬を打つた” 次の様に並べ得る。

(1)	Infano batis hundon.	1	2	3
(2)	Infano hundon batis.	1	3	2
(3)	Hundon infano batis.	3	1	2
(4)	Hundon batis infano.	3	2	1
(5)	Batis infano hundon.	2	1	3
(6)	Batis hundon infano.	2	3	1

17. 造語法に就いて

エス語に於ては獨特の語尾變化によつて、又數個の接頭字、接尾字によつて一の單語から多數の單語が導かれ得る。即ちエス語を除く一切の言語に於ては一つの單語を覺える事は唯其の單語一つを覺える事でしかないのにエス語に於ては一つの單語を覺える事がどれ丈の單語を覺える事になるか分らない。

- a. 喜び (名詞) ĝojo
 喜ばしい (形容詞) ĝoja
 喜んで (副詞) ĝoje
 喜ぶ (不定法) ĝoji
 喜んで居る (現在時) ĝojas
 喜んで居た (過去時) ĝojis
 喜ぶだらう (未來時) ĝojos
 喜んだらうに (假定法) ĝojus
 喜べ (命令法) ĝoju
- b. wind, breeze; people, mob;
 (vento, venteto) (popolo, popolaĉo)
 word, dictionary; chatter, loquacious;
 (vorto, vortaro) (babili, babilema)
 money, coin, purse;
 (mono, monero, monujo)
 father, mother, father-in-law, parents;
 (patro, patrino, bopatro, gepatroj)
 a woman who is taking a walk
 (promenantino).
 bad }
 ill } worse, worst;
 {malbona, pli malbona, plej malbona}
 {malbone, pli malbone, plej malbone}

18. 學習興味の喚起に就いて

語學の勉強に於て最も大事な事の一つは常に興味を喚起する事であり、今一つは常に作文會話の機會を持つ事である。エスペランティストは原則として會へば同國人でもエス語で話し、又常に内外の同志と交通する事によつて學習の興味が非常に促進され、且上達も早められる。エス語が英語などとは比較にならない位早くものになるのは單にエス語がやさしいと云ふ丈ではない。實にかく會話作文の點から不斷に學習を促進される處に原因するのである。これを今日の中等學校に於ける語學教育の實狀、即ち英語が餘りに難しい處より然もそれをまだ幼稚な頭に無理やりに詰込まれる處より、英語、ひいては語學全般に對し嫌惡と敬遠の念を起させ勝なのに較べると蓋し思半ばに過ぎるものがある。

以上の外、動詞の不規則變化、名詞の複數形、比較最上級の作り方等に於ける英語の缺點換言すれば英語の外國語入門としての不適當なる所以を逐一數へ立てたら到底枚舉に違がないであらう。要するに現在の私には英語と云ふものは“まだ原料の儘のもの、生のままの物”であり、その儘では到底人前には出せないものとししか考へられない。これに適當に加工し精製したものがエスペラントだとも云ひ得よう。F. Stancliff 氏が New York の Herald Tribune 紙上にてエス語の本質を簡潔に説明して曰く“要するにエスペラントは人造氷の様なものである。實質上氷たる點には少しも相違はないが、ただ天然氷と異なる處は塵芥や不純物を含んで居ない事である。換言すればエスペラントは列國國語中より不合理不規則を捨て、其の生粹部分のみを集めたものである”と。私は又これを習字に喩へ得ると思ふ。エス語は楷書だ。英語は草書だ。たとひ終局の目的が草書の學習にあるにしても先づ順序として楷書の學習から入る方が、直ちに草書の學習に入るより一見廻りくどい様で却つて一層早く確實に所期の目的を達し得るのではないかと考へる。エス語が各歐洲語に入る門であると云ふ事は理論及び我々の實驗によつて明かなるのみならず、歐洲人自身が既にこれを證言して居る處である。

要するに我々日本人の外國語入門としては(1)容易に習得し得る事、(2)論理的なる事、(3)發音の麗しき事、此の三條件が必要である。

此の點から觀て我々日本人の外國語入門としてはエス語以上に適切なものは絶対にないのである。これ我々が我國中等學校に於ける外國語入門として極力エス語を支持する所以である。而して國民教育上に於ける、かかる劃期的な變革は一部人士の提唱によつて、容易に實現し得るものではなく、現に英語教師の職に在る一切の人士の協力にまたねば到底實現し得るものではない。それを妨げるものは何か。曰く偏見である。安逸を貪らんとする怯懦心である。職に忠なる一切の教師諸君速かに偏見と安逸を棄てて此の國家的大事業の實現に努力すべく奮起の程衷心切願して止まないものである。(昭和十年七月廿五日)

Basic English 批判

岡 本 好 次

最近英語教授は骨折損のくたびれ儲けに終つてゐるといふ輿論の批難をうけて日本の英語學者が大あはてにかつぎだしたのが Basic English (基本英語)である。

Basic English は別に日本の英語教授の缺陷を補ふために考案されたものではなく英語が今日のままの六ヶ敷さでは國際用語として役にたたぬから之を合理化しようといふ健氣な決心で英國の心理學者 Ogden 教授が考案發表したものである。

英語が今日のままでは國際用語として役にたたぬことを認めたのは達識といふべきである。併し次にのべる如く Basic English は決して英語の缺點をためなほしたものと云ふことができない。こんな中途半端な改良英語が平易簡明しかも五十年の歴史を有するエスペラントの國際語の地位を奪はうとして名のりでたのは笑止千萬である。世界の識者は一顧だもしないのは尤もなことである。

併し我國英語學者がこれを取りあげた所以はエス語に對する敵本主義と英語擁護の立場からで結局國家百年の大計を樹立するよりも自分がかはいといふことを露骨にしめたものである。(最も眞摯な英語學研究者の大多數は BE を白眼視してゐるが英語界の重鎮たる政策家連はこれを取りあげたのにみても底意がわかる。)

併し目明き千人盲目千人の世の中だから知名の英學者の詭辯に迷ひ Basic English (以下 BE と略す)こそ未來の國際語だなんと誤解する人があるかもしれぬ。ここに筆者が一文を草して BE の國際語として(姑息な改良英語としては何程かの價值はあるが)無價値なことを説明する所以である。

先づ BE は英語の語彙を整理して 850 語にしたと稱し之で萬事用はたりるといつてゐるがこれが BE の一枚看板でしかも裏からみるとインチキそのものである。といふのは例へば my me はともかくとして we our us ま

で I の變形として一語に數へたり she it they 及その變化形をすべて he の變形として一語とするといふやり方である。その上この 850 語以外に radio, hotel, telephone, bar, club 等の形の國際的な語彙は 300 語まで増加するのだそうだし専門學術語は各部門に 150 語を追加してもよいとの事だし動植物の名で 850 語中にないものはすべてラテン語を用ひてよいとの事でこれでは $850 + 300 + 150 \times x + \alpha$ で結局數千語にのぼるので 850 語が表看板にすぎないことがわかる。

エス語でもザメンホフ博士が發表した時は基本語根としては九百餘語にすぎなかつた。併し五十年間の經驗を経てそれでは日常百般の事物の説明に不便であるから次第に増加して今日に到つてゐる。日常普通の用にはエス語では四五百語もあれば十分である。

次に BE は語彙を 850 に制限するために努力した結果 850 中の大部分は名詞、形容詞等でしめ動詞は僅かに全部で 16 語 (come, get, give, go, keep, let, make, put, say, see, seem, send, take, be, do, have) しかないといふ驚くべき事實である。850 語の外に澤山必要な語彙がふえとしても動詞はこの 16 語でおし通すらしい。

この事は Ogden 氏としては得意の考案のつもりであらうが我々からみると BE の致命的の缺點だと思ふ。なぜか?

結局 BE ではこの 16 語の表はす以外の動詞はこの 16 語と前置詞や副詞等との結合によつて示すことにしてゐるのであるからだ。例へば「collect (集める)」は *get together*, *put into a group* とし「沈む (sink)」は *go down*, 「正す (correct)」は *put right* とし「leave (立去る)」は *go from* といふ風である。だから「買ふ (buy)」といふ様な四五歳の童兒でもしつてゐる動詞でもこのやり方で *give money for (a book)* 又は *get (a book) in exchange of money* とまるで判じ物か謎み

たいなことを云はねばならない。「食べる (eat)」といふ動詞もないから take food とすべく「寝る (sleep)」は have a sleep (BE では名詞の sleep があるが動詞がない) と云はねばならない。

つまり Basic English では如何なる野蠻な言語にも存在するであらう所の「食べる」とか「寝る」とか、「買ふ」とか「沈む」とかその他澤山の日常必須の動詞を示す語がないのである。いくら語彙の数を少数にするがための犠牲とはいへ餘りに悲慘であり人間の感情を解しないやり方だ。これでは語彙の少い赤坊の片言とえらぶところがない。まさに Basic English といふより Baby English と改稱した方が適當かもしれぬ。

猶動詞のみならず名詞も日常必要なものが 850 語中にないのが多い。例へば 850 語中には果物は 4 種、獣は 9 種、鳥は 1 種、昆蟲は 3 種しかなく、魚や花は一種もないとは驚入った言語である。表看板の 850 語は有難いがこれではものの役にたたぬ。

例へば「ピクニック (picnic)」は outdoor meal, 「汗 (sweat)」は drops of heat, 「蠟燭 (candle)」は wax-light, 「封筒 (envelope)」は letter-cover, 「眼瞼 (eyelid)」は eye-cover, 「眉毛 (eyebrow)」は hair over the eye, 「公園 (park)」は public amusement place, 「パラソル (parasol)」は sun-shade, 「祭壇 (altar)」は high table, 「塔 (tower)」は high round building とするとは正に Baby English といはれてもやむをえまい。

この流儀でゆけば「鳩 (pigeon)」といふ語がないから bird that Noah sent out to see if there was land といひ、玉葱は white roots that make eyes full of water とでもするか。

ザメンホフはエスペ란anto の考案にあたり語彙を少くするために努力したがこんな馬鹿げたことはやらなかつた。即ち一つの語根から名詞も動詞も形容詞も副詞も誘導される様につくりあげた。この賢明な方法以外に語彙の節約法がない。

キット Basic English (1929-32 年に発表したばかり) も實地に使用する人がふえてく

れば collect, sink, correct, buy, eat, sleep, sweat, candle, envelope, park, parasol, pigeon, altar, tower 等の語を加へろといふ議論が多くなり動詞もうんとふやせといふことになるだらう。そうしてダンダン不便を除いてゆくとしまひには BE も進化して今日の normal English になつてしまふんぢやないかと思ふ。日本の英語學者はそれでよいのだといふだらう。(それがむしろこの人々の心の中かもしれぬ) 唯やさしい英語といふ名にパイ食はされた民衆の顔が見物だ。(「ベーシックの ABC」中岡倉氏序文参照。)

今我々がエス語の經驗を用ひて英語を改良するとすればこんな Ogden のやり方はせず次の様にする。

1. 正字法を改めるか發音をあらためる。
(BEはこの點はソツトしておいてある)。
2. 名詞動詞形容詞副詞を同じ語根から誘導し得る様にする。
3. 文法上の不規則を全部なくする。(例、動詞の現在過去分詞形の統一、名詞の複數形の劃一等々)。
4. イディオムを全部なくする。

まあこういつたやり方である。しかしこのやり方でゆけば結局今のままの英語に大革命をもたらすことであるから英米國民は承知すまい(今日 BE でも反對してゐる)。國民の反對をおしてまで英語改造に熱中するよりも各國語を材料として人工的に國際語をつくりあげた方がどれだけ氣兼ねいらぬかわからぬし一方それでなくては國際語の中立性がたもたれない。こう考へてみると今更英語を基本に人工國際語をつくるよりも既に五十年間に試験済のエス語を實用した方が近道だ。英米の識者が BE の肩をもたぬのももつともといへよう。

ただ BE は難澁な英語學習に苦しんでゐる日本や英米以外の國の英語學者の間でとりあげられてゐるのだ。それは BE によつて英語の牙城を堅固にして BE を表看板にして大衆を英語にひきつけてをいて結局本當の六ヶ敷しい英語へ引張りこむ客引の役をつとめさせようとしてゐるのである。併しいつまでも大衆はそんな手品にだまされるかしら。



大會會場——名古屋市公會堂

Al Nagoja

Por Nia 23-a

Kongreso

第二十三回日本エスペラント大會迫る

——〔會場及宿所變更〕——

日	程
第1日 9月22日(日曜)	
會場	名古屋市公會堂(鶴舞公園内)
8.00	受付開始
9.00-10.30	發會式
10.30-11.30	日本エスペラント學會總會
11.30-12.50	午餐及び記念撮影
13.00-17.00	大會協議會
18.00-22.00	懇親晚餐會
第2日 9月23日(月曜)	
會場	名古屋市中區南瓦町 YMCA 會館
9.00-12.00	分科會
午後	市内自由見物 雄辯大會(有志)
晚	一般普及講演會(青年佛教聯盟とエス聯盟の合同主催)
第3日 9月24日(祭日)	
中央線	定光寺—高藏寺へ Ekskurso
8.34	千種(チカ)驛發

參加申込

本誌へ參加申込用紙を添付しましたからそれぞれ御記入の上御申込下さい。(御知り合その他の方々に參加される方があれば官製ハガキへ同じ様式で御記入下さる様御話下さい)。

參加費用

1.	名古屋迄の往復旅費	x
2.	大會參加費	50 錢
3.	懇親晚餐會費	1.30
4.	Ekskurso	
	千種——定光寺	.33
	高藏寺——千種	.27
	書食	.30

5.	宿泊(朝食付一泊一圓)ニ泊トシテ	2.00
6.	雜費	y

$$4.67 + x + y$$

合宿所は

名古屋市中區公園前(公園電停北東半丁)舞鶴館に變更。

朝食付 ￥1.00

同宿所は大會々場に近くて且市内の中央へちかく非常に便利です。

分科會は

これ迄に申込んだものは

- 1) 中等學校エス語普及準備委員會
- 2) 醫學分科會
- 3) Kristano 分科會
- 4) 佛教青年會分科會

——汽車の割引——

は致しません。

★エス語入繪葉書發行 名古屋名所及市内エス語入看板を掲げた商店を8枚組としたエハガキを發行。これは晚餐會參加者に御土産として一組づゝ贈呈します。(賣價十錢の豫定)

★エスペラント賣店 大會第一日會場内に esp-aĵo の賣店を設けます。賣店へ出品御希望の方は品名、數量、價格御通知下さい。

★大會記念出版——別項記載の如く名古屋の古い同志山田弘氏の

“Heroeca Junulo en Oriento”

(長谷川伸作)が出版されます。

第23回日本エス大會準備委員會

名古屋市赤塚郵便局私書函第63號

第四回北海道 エス大會記

明年度日本大會を札幌に
招待の件決定

就任された等の番狂わせがあつたにもかゝらずあくまでも盛會を期した。苦心の程を偲ばしめた。大會々長塚田勝氏の挨拶(沼田芳藏氏代讀)に續いて相澤氏、札幌エス會及

全道エス聯盟を代表し、福田氏、U. E. A. delegito として、江口氏、小樽エス會を、中村氏、普及會北海本部を、岡垣氏、苫小牧エス會を、三崎氏、札幌鐵道エス會を、武田氏、旭川エス會を夫々代表して挨拶あり、學會、普及會よりの外約20箇の祝電及海外諸國の landaj asocioj 其他よりの祝文約30箇の紹介の後、市長代理、十勝觀光協會、帶廣商工會、十勝文化協會各代表の祝辭あり、エス運動が一般に徹底しつゝある證左として頼もしかつた。Tagigoの合唱を以て發會式を了へ記念撮影をして各自晝食へ。午後2時よりは大會協議會聯盟總會あり塚田大會々長開會を宣し、普及會北海本部中村久雄氏議長に推され、北海道中等學校にエスペラントを隨意科として採用方道廳當局へ請願の件、全道各放送局へエス語講座並に各時機に應じたるエス語に關する放送方を慫慂する件、全道主要日刊新聞社に對しエスペラント運動につき何分の支持方要請の件、北海道エス運動史を希望者に實費を以て聯盟より頒布するの件、聯盟に名譽會員を推薦する件、札幌市に第廿四回日本エスペラント大會を招待の件、外數件を決議し、午後五時半芽出度終了、豫定の辯論大會は時間の都合で割愛、夜は味の Ĉiovendejo 宮本食堂に於て晚餐會あり、Kantoj salutoj エス語漫談等にて歡を盡して10時すぎ散會、此日時々小雨があつたが Promenado にも何のさまたげなき程度にて終始天候には恵まれた大會であつた。明年度の日本大會必成を期し一同極めて意氣軒昂にて ĉefstrato を la Espero を合唱しつゝ驛に至り夜行にて歸途につく Samideano を送つた。

斯くして北海道のエス運動は年と共に進展をつゞけるのである。此の大會に際し参加者に市よりは市勢要覽、商工會よりは十勝大觀、十勝と帶廣市觀光案内及十勝音頭 disko、北海道製糖會社より大會記念スタンプを捺印せるビート糖一袋、酵母劑バンドミン及事業概觀エハガキー組の寄贈を受けた外普及會本部よりは國際大本綠の世界を寄贈された。(寫眞説明次號)(帶廣エス會報)



第四回北海道エス大會は帶廣エス會主催帶廣市役所、帶廣商工會、帶廣觀光協會、北海道製糖株式會社、地元各新聞社等の後援の下に於て八月三、四日兩日帶廣市に於て開催された。

先ず8月3日午後三時驛前に集合、遊覽バスにて翠光園へピクニックす、郊外の清泉を湛へた池をめぐるし樹石の配置よろしき遊覽地で、芝生に憩ひ、全道代表の Esp-istoj は1年振りの會談を楽しみつつ Novaj Esperantaj diskoj を聴く、池では6艘ほどの boatoj に分乗して幽邃なる邊りの atmosfero を吸収しながら remado. 數人の Obihiro-aninoj-Fraŭlinoj も加はつてゐる。夕刻池端の亭にて malvarmigita cidro に歡を深くし、途中縣社帶廣神社に參拜、同じくバスにて當てられた合宿所千龍館に着く。7時から千秋庵に於て帶廣エス會招待茶話會あり、10時頃迄 interbabiladi, kantadi などして、其の後夜の市中を散歩する、前夜の降雨はあと方もなく晴れて祝福された第一日であつた。千龍館に戻つた一同は、來年の日本大會招待話などに花を咲かせたが大抵各地から夜行列車にて集つた事として12時すぎ頃からは靜まり返つて Esperantujo の夢に入つてゐた。

8月4日午前10時全員十勝公會堂に集合、大會發會式が擧げられる。集る者、帶廣の gekomitatanoj の外、札幌、小樽、旭川、日高、苫小牧、足寄、山部、室蘭等の代表者約30名其他來賓を合せて40名に及び gehelp-kongresanoj を加へると参加者60名に及んだ。Komitatano 佐藤松男氏開會を宣し先ず Nacia Himno, la Espero の合唱あり、準備委員長谷川守氏の挨拶には、昨年小樽大會直後よりの準備運動の經過報告あり、5月 energia laboranto たりし前準備委員長原田三馬氏を東京に送り、其の十日程前に15年程前に東大にて西博士の gvidi を受けた耳鼻咽喉科醫院を開いて居られる塚田勝氏が帶廣エス會長に

内 外 近 況

エスペラント夏期大學成功

急にプラノをたてゝきめた學會主催のエスペラント夏期大學は幸に參加者 24 名の盛況でしかも相當出席率もよく參加者の知識の水準をたかめることができたことをよろこびとしたい。やゝ詳しい報道は次號で。

おことわりとお願い

本月號は特輯號としたため「内地報道」を次號へまわしましたことを深くおわびいたします。

猶十月號は大會があるので九月十五日に發送することにしました。それで内地報道の原稿は九月六日迄に當會へ着する様御報知願ひます。

★今年一月から東京市淀橋區百人町 2 の 37 教育資料株式會社から發行してゐる雑誌「法悦」(Ciela Gojo といふ subtitolo あり)がでてゐるが之れはエス語聖書から引用したものなどを用ひたりエス語の本の譯をのせたりエス語を大いに利用されてゐることはありがたい。

★オーストリーで九月から各地名所をエス語で説明した 50 種の官製エハガキが發行されることになった。

★オーストリアで最近又々エス語書き案内記が二つでた。一つは本誌前號紹介の Wien 案内の小冊子“Wien”で他は“Wien kaj Niederösterreich”である。

兩方とも Internacia Esperanto-Muzeo, Wien, I. Neue Burg. Aŭstrio へ respond-kupono 一枚宛添へて申込みばもらへる。

國際觀光局發行“Japanujo”について

外國の同志に“Japanujo”を送つてもらひたい方々は東京市麴町區丸之内鐵道省國際觀光局宛その adresoj (丁寧に書くこと)を通知して願ひすること。

地方會で展覽會用として“Japanujo”入用の向は郵券二錢封入學會へ申込まれたし。

—ANONCETOJ—

綠星旗

一尺四寸五分×一尺二寸(人絹製)黒塗竹竿(二尺三寸)及金の玉付。定價 50 錢(送料内地 10 錢)。でおわかちします。岐阜市美園町 2 浦野藤吉。

第 12 回九州エス聯盟大會

期日 10 月 27 日(日曜日)

大牟田市ニテ

詳細ハ本誌次號ニ發表ス

大會事務所 大牟田市榮田二丁目 植田
病院内

九州エスパランチスト聯盟本部

大阪エスペラント會九月豫告=毎週火曜午後 7 時から天六北市民館でスラブ篇の研究。他に次の特別豫定あり。9 月 3 日=總會(委員半數改選。大會 OES 代表選舉)。10 日=R. O. (JEI 支部)。17 日=會話會(Trapezo で) 24 日=大會感想報告等。

東洋文史研究所創立記念

懸賞論文募集

エス語の實用的技術の向上と新人の奮起を促す爲に下記の通りエス論文を募集します。全國同志の應募を歓迎します。

1. 論題の範圍：日本及東洋の文化に關する諸學を包括す。(各自の temo は隨意)
 2. 本文に和文の梗概、筆者の經歷、寫眞等を必ず添附すること。(匿名を許さず)
 3. 分量：五千語内外。
 4. 原稿は充分行間を明け印書せしものか活字體に認めたものに限る。
 5. 締切：十二月十五日當研究所到着のこと。
 6. 發表：明年 R. O. 四月號其他に公告す。
 7. 審査：當研究所編輯部及臨時專門委員。
 8. 賞：優秀なる論文には賞金一封を呈す。
 9. 入賞論文は適宜に發表す。
 10. 應募原稿は返戻しない(豫め申出ある場合に限り添削の上返送する)。
- 其他不明の點は御問合せのこと。

新研究所員：金松賢諒、山本胤通、菅原慶一

原稿 東京市駒込動坂町 326 露木清彦方
送 先 東洋文史研究所

Lnma Rondo

9 月 7 日(第二土曜)午後 7 時スルガ臺國民中學會筋向寶亭。中垣氏：Pri mia esp-ista vivo.

★中垣虎兒郎氏の「北極」(改造社發行)は“Tridek Jarojn en Ora Nordo”より譯したもの(後半は英譯より)。

★中垣氏の「カムチャツカ探險旅行記」(學藝社發行)は“Tra Sovaga Kamcatko”より譯したもの。共にエス語が活用されてゐる事は愉快である。

編輯後記 ★本月號は御覽の如く特輯です。御多忙中態々御執筆賜つた方々に深謝致します。

★特輯のため内地報道がのせられませんでした。この段おわび申す。

★本號は別に餘分に(表紙をかへ且本誌七月號の藤高氏及八月號菅野氏論文を represi して)印刷しましたから宣傳用に御利用の向には學會で實費の一部分を負担して1部4錢(外に送料二部毎に2錢)の割でおわかちします。お知り合の中等學校の英語の先生や校長さんにお寄贈下さい。部數に限りがありますからそのおつもりで。

—— 大會を前に出版されるエス書かずかず ——

(詳細次號發表)

★KRONIKO JAPANA Vol. I. (日本書記)

野原休一氏譯・菊版百廿餘頁・定價1圓20錢

古事記と共に日本歴史上代史の典據をなす日本書記のエスペラント譯。初代より神武記までを含む。

★HEROECA JUNULO EN ORIENTO

山田弘氏譯・小坂氏校閲・四六版六十頁

長谷川伸の「東洋の俠血兒」及び本多靜六博士の隨筆のエスペラント譯。

★エスペラント醫學文集

八木日出雄博士編・四六版七十頁

これ迄日本ででたエスペラント書き醫學論文集の拔萃。醫學關係者の講習用書として好適。

—— 近 刊 ——

★KAIJIN-MARU (海神丸)

野上彌生子著・大崎和夫譯

以上日本エスペラント學會發行

秋に贈る

この豪華版！ この廉價！

下記は、かねてオランダの出版社で一部五圓前後の割で豫約募集してゐたものであるが、La Praktiko その他が指摘してゐるとほり、出版元の營業ぶりに不審の點が多いため、讀者に迷惑のかかることを恐れ、取次を躊躇してゐたところ、つひに破産するにいたり、イギリスの BEA が、その事業を繼承した。BEA は從來の豫約會員制度を廢し一部賣りとし、大々的に値下げを斷行した。學會では直ちに大量的に輸入、從來の約半額といふ驚異的特價を附して、折からの讀書の秋に贈ることとした。

——いづれも美しい布表紙、堂々たる菊判密組 270 頁前後の豪華本——

QUO VADIS [上, 下二冊] 表紙：高雅な黒地に金文字入

分賣各冊定價 3 圓 50 錢・特價 2 圓 80 錢・送料 10 錢

上下同時に御注文の場合は特價 5 圓 20 錢・送料 20 錢

ポーランドの文豪シェンキェウィッチの傑作として誰知らぬものなき長篇大作「クオ・ヴァデイス」。譯はリジャ・ザメンホフ嬢。

Viro el Francujo 表紙：優美な緑地に金文字入

定價 3 圓 50 錢・特價 2 圓 80 錢・送料 10 錢

作者イヴァンスはオランダで人氣の絶頂にある探偵小説家。その人の最大傑作「フランスから來た男」——兇惡な脱獄囚を描く戦慄の長篇。

ŜI 華麗な縞地に金文字入。定價 3 圓 50 錢・特價 2 圓 80 錢・送料 12 錢

Luno de Izrael でおなじみのイギリスの人氣大衆作家ハガアドの名篇。

FANNY 瀟洒な芭蕉布に綠色文字入 定價 3 圓 50 錢 (送料)
特價 2 圓 80 錢 (10 錢)

アメリカの暗黒面と女性を描くファーマー女史の長篇傑作。

Oppenheim: Riĉa kaj Sen Mano (社會) 定價 3 圓 50 錢 (送料)
(小説) 特價 2 圓 80 錢 (10 錢)

《近 著》

Oppenheim: La Ora Ŝtuparo 定價 3 圓 50 錢 (送料及び
特價未定)

再 着

大量的に仕入れても仕入れても忽ち賣切れになる

PLENA VORTARO

しばらく品切れ中のところ、本日（8月21日）入荷いたしました。あまりに賣れるので發行所で不思議がつてゐますが、これは日本のエスペラント界の質的向上を物語るものです。今や、日本では、本辭典を所持しなければ、エスペランティストの間に顔出しができないほどです。またも賣切れとならないうち、さつそく御注文ください。定價は僅かに

六圓 [送料二十一錢 内地外二十四錢] 外國十圓 [送料二十四錢]

[内容見本お申込み次第贈呈]

ORIGINALA VERKARO

エスペランティストが誰しも一部は持たなければならないザメンホフの原作集。雜誌論文、大會演説、書簡、原作詩等の集大成。

六圓 [送料 内地三十三錢、朝鮮、樺太、臺灣、滿鐵沿線六十二錢
中國三十四錢、その他外國四十錢]

Julio Baghy: SUR SANGA TERO

特價二圓・送料六錢

シベリアの捕虜生活を描いた長篇小説。Viktimojの續篇で、前篇よりもさらに興味深い描寫。パルチザン、日本兵等の活躍。

Lagerlöf: GÖSTA BERLING

特價三圓五十錢・送料十四錢

スウェーデン隨一の女流作家で、ノーベル授賞者ラエルリョフの最大傑作として知られるヨスタ・ベルリング。秋の讀物として隨一。

第23回日本エスぺラント大會

參加申込書

1. 氏 名 (フリカナ付き).....

2. 職 業 (或いは學校名) _____

3. 住 所

4. 名古屋驛到着豫定 9 月 _____ 日 午 ^{前後} _____ 時

5. 滯在豫定 日 間

6. 宿舍申込 有・無

8. Ekskurso 參加・不參加 出席・不出席

9. 所屬エス會名.....

★送金内譯 (小爲替は・大會會計部宛)
振替は・名古屋1947番 山田弘宛)

送金方法——小爲替・振替（をたしなうに
なされた）

A. 參加費_____ 50 錢

B. 懇親會費——1. 元 3 0 錢

C. 寄附金 (御隨意・大會支持の御寄附・多少に關らず拜受) 錢

計..... 円 銭

振替用紙は各地郵便局にて無料でくれます。振替送金は最も安全な送金方法ですが4・5日到着遅延します故・なるべく大会の十日前迄に御拂込みを・それ以後の送金は受領證を会場受付へ御持参下さい。

■ 會計以外の用件は「名古屋赤塚局私書函63號」

第23回日本エスぺラント大會準備委員會」宛

郵便はかき

名古屋市東區東大曾根町本通二丁目

山田 弘方

第二十三回日本エスぺラント大會

會計部 御中

一錢五厘

切手貼付

秋の特賣

1. 九月の讀物

讀書の秋を期して洋書の特價販賣をいたします。第一回分は締切九月末日限り。部數に限りがありますから、期間中でも賣切れとなつたばあひは、お斷りするか、または次回入荷までお待ち願ひます。

Mussolini: VIVO DE ARNALDO

特價 60 錢・送料 4 錢

HUNGARA ANTOLOGIO

特價 4 圓 50 錢・送料 21 錢

Engholm: HOMOJ SUR LA TERO

特價 1 圓 30 錢・送料 4 錢

FINE MI KOMPRENAS RADION

特價 1 圓 60 錢・送料 4 錢

Engholm: INFANO EN TORENTA

特價 75 錢・送料 4 錢

Wagnalls: PALACO DE DANGERO

特價・2 圓・送料 6 錢

PENTROARTO DE MALNOVA HUNGARUJO (豪華特製)

特價 5 圓 90 錢・送料 21 錢

Kalocsay: STREČITA KORDO

特價 1 圓 50 錢・送料 6 錢

Papini: HISTORIO DE KRISTO

特價 4 圓 50 錢・送料 14 錢

VORTOJ DE LANTI

特價 1 圓 20 錢・送料 4 錢

Sinclair: JIMMIE HIGGINS

特價 2 圓・送料 15 錢

EN OKCIDENO NENIO NOVA

上製特價 3 圓 70 錢・送料 8 錢

ENCIKLOPEDIA DE ESPERANTO

い よ い よ 完 成

15.5×23.5 cm. 8 ポ密組 640 頁 寫眞版 300 餘頁

およそエスペラントに關する限りは、その歴史、文獻、人物の萬般に亘り、求めて得られないところがない。試みに日本に關して云へば、著名エスペランチストの略歴百餘項、寫眞數十個、各地方會の有能運動者百數十、日本エスペラント運動史、日本のエスペラント雜誌、JEI の歴史、日本エスペラント運動の過去と現在、日本文學とエスペラント等々。

定價 30 sv. fr. (時價約 33 圓) のところ暫定特價 14 圓 50 錢。但し、九、十兩月中にお申込みのばあひに限り、完成紀念の意味で

並製 11 圓 55 錢 (送料内地 33 錢内地外 48 錢 中國 34 錢市内 12 錢) 特製 13 圓 55 錢 (送料内地 33 錢内地外 52 錢 中國 38 錢)

——特製は第 II 卷未着・並製も在庫僅少につき忽ち賣切の恐れあり——

エスペラント・九月號

賣卜者, その他 (イソップ) 中垣虎兒郎
時間に關して (會話) 田代晃二
Al iu la=ies (讀者の問題) 岡本好次
和文エス譯 (講評と課題) 倉地治夫
Aferoj en Japanujo 由里忠勝
乙女の湖 (映畫ものがたり)
接頭字 mal-; 接尾字 -in- 小坂狷二
古い日記帳から 山鹿泰治
地名のロマンツォ 吉田克巳
改革の賽は投じられた 久保貞次郎
春の行方 (新ザメンホフ傳) 岩下順太郎
Televido, 質疑應答, に・これすぽんだす

新撰和エス辭典

世界一の自然語エスペラント辭
典・是ぞ躍進日本の誇り
定價 2 圓 50 錢・送料 6 錢

新撰エス和辭典

並製 60 錢・送料 4 錢
第五十版紀念インド紙刷
特製 80 錢・送料 2 錢

文藝本 沙翁悲劇篇

萬魂詩人の傑作四篇の拔萃
定價 30 錢・送料 2 錢

エスペラント會話

生きた會話書, 分類語彙附
定價 40 錢・送料 2 錢

ドレーン 世界語の歴史

國際語運動の必然性立證
1 圓 20 錢・送料 8 錢

文藝本 フランス篇

エス譯フランス文學の精萃
定價 25 錢・送料 4 錢

財團法人 本エスペラント學會

東京本郷元町・振替東京 11325 番

1 部 20 錢・送料 5 厘・舊號見本切手 10 錢